

リストNo	04-001	施設コード	02380	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	浜松城公園天守閣			
所在(町名・番地)	中区元城町			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁	
	施設	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁	
設置根拠(法)	都市公園法			
条例	浜松市都市公園条例			
設置目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)			
主な利用者	一般等			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~			
管理者名	浜松城公園パークマネジメント共同事業体			
開館時間	8:30 ~ 16:30			
建物情報	総延床面積	311.27	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.68		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1958/4/26		
	経過年数(主要建物)	65		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	*維持管理経費は、NO.17-27に一括計上。			



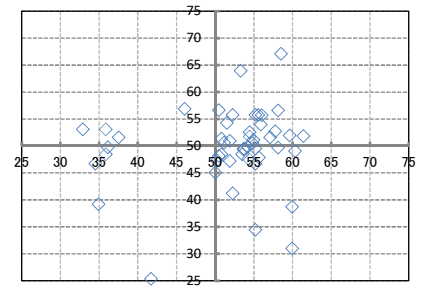
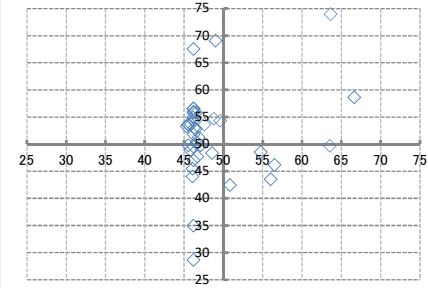
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	218,743	133,036	95,787
	開館日数/年	—	362	245
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外装改修工事	52,406			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-009	美術館	市域	0.1
04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.4
04-014	浜松復興記念館	地域	0.6
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.8
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	1.0
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン	広域	1.4
04-013	賀茂真淵記念館	地域	1.5
04-008	浜松科学館	市域	1.6
01-001	本庁舎	市域	0.2
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.2
06-001	中央図書館	市域	0.2
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.3
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.4
14-002	消防局・中消防署	市域	0.5
01-002	元目分庁舎	市域	0.5
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.6



基本情報	リストNo	04-001	施設コード	02380	所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所	
	施設名	浜松城公園天守閣					施設	都市整備部公園管理事務所
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)						
		主な業務内容	展示業務、自主事業					
		主な利用者	一般等					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—		
		—	2021	—	—	—		
		—	2020	—	—	—		
		—	2020	—	—	—		
事業②	—	2022	—	—	—			
	—	2021	—	—	—			
	—	2020	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—			
	—	2021	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—			
	—	2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	天守閣は、昭和33年に鉄筋コンクリート造で再建され57年が経過。平成19年度実施の耐震診断では、耐震改修促進法に基づく構造耐震指標であるIs値が0.68、静岡県内の判定基準では耐震性能がやや劣る建物で倒壊する危険性は低いがかんがりの被害を受けることも想定される建築物と判定。同法に基づく安全の判定基準であるIs値0.6は超えているが静岡県が耐震補強に求める基準を満たすためには、補強壁を設置する耐震補強等が必要となるが、一方で展示スペースが1/2程						
	対応策	浜松城天守閣は、市のシンボルであり、年間約20万人の方々にご来場いただいている。今後、天守閣としての魅力を損なわないよう、展示スペースの確保などの課題を見据え、耐震補強等の方向性を検討する。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
記入欄	管理主体変更	—	—	—	—			
	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
民生活導入	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			
指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	0	0
	1日当たり利用者(人)	—	368	391	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-002	施設コード	00017
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	アクトシティ浜松Dゾーン		
所在(町名・番地)	中区中央三丁目9-1		
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
設置根拠(法)	—		
条例	アクトシティ浜松条例 浜松市楽器博物館条例		
設置目的	楽器に関する知識を広め、音楽文化の向上に寄与するため(浜松市楽器博物館条例第1条)		
主な利用者	浜松市内に限らず全国から来館があり、年齢層も幼児から高齢者まで幅が広い。		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~		
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団		
開館時間	9:30 ~ 17:00		
建物情報	総延床面積	11,002.91	土地情報
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	6	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1995/4/8	
	経過年数(主要建物)	28	
用途地域	商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	収入、支出、及び利用状況の一部は「00015アクトシティ浜松Aゾーン」に計上		



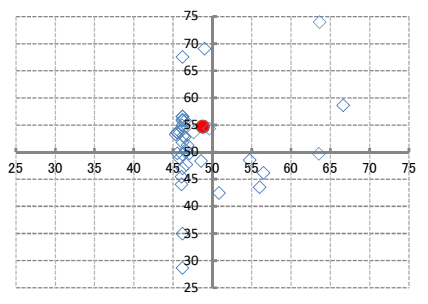
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	31,038	19,668	15,090
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	21,169	9,791	34,163
	収入計(A)	52,207	29,459	49,253
	人件費	51,182	48,600	48,698
支出(千円)	物件費(委託料)	1,695	948	1,835
	維持補修費(修繕費)	53	1,015	40
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	52,930	50,563	50,573
行政コスト(B-A)	723	21,104	1,320	
収支前年比	3.43	1598.79	35.07	
(参考)指定管理料	40,264	57,420	43,586	
(参考)減価償却費	56,885	56,885	56,885	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	64,361	40,571	32,523
	開館日数/年	333	336	286
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,169,654	1,049,788	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	空調自動制御機器更新工事	100,100	2015	機能強化・リニューアル改修工事	59,706
2021	アクトシティ浜松A・Cゾーン給水・消火設備弁類等更新工事	92,848	2014	Dゾーンエレベーター改修工事	21,098	
2021	アクトシティ浜松Dゾーン空調調和機整備工事(4期工事)	56,540				
2020	アクトシティ浜松東イペイトホール及び専業工務ホール等管線更新工事	14,741				
2018	楽器博物館天窓改修工事	6,134				
2018	Dゾーンエレベーター更新工事	11,891				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-008	浜松科学館	市域	0.2
04-014	浜松復興記念館	地域	1.1
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.3
04-001	浜松城公園天守閣	広域	1.4
04-009	美術館	市域	1.5
04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.6
12-001	アクトシティ浜松Cゾーン	広域	0.1
19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.1
09-004	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.2
10-002	ふれあい交流センターいたや(いきいきプラザ中央)	地域	0.2
19-001	駅北駐車場	地域	0.2
11-003	子育て情報センター	市域	0.3
08-009	なのはな保育園	生活	0.3
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	0.3



基本情報	リストNo	04-002	施設コード	00017	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課
	施設名	アクトシティ浜松Dゾーン			施設	本庁	市民部創造都市・文化振興課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		楽器に関する知識を広め、音楽文化の向上に寄与するため(浜松市楽器博物館条例第1条)					
		主な業務内容	音楽資料(楽器、楽譜、音楽史等に関する資料)の収集・保管・展示、専門的・技術的な調査研究、講演会・講座等の開催				
		主な利用者	浜松市内に限らず全国から来館があり、年齢層も幼児から高齢者まで幅が広い。				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		幅広い年齢層が利用する施設として一定のニーズが見込まれる。				
	特記事項		数々の企画展を開催し、好評を得ている。				
	主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		①企画展「テルミン誕生101年 電子楽器の過去と未来」	2022	—	—	59,985	
		②特別展「発見！楽器の動物園」	2021	—	—	57,596	
		③特別展特別展示企画展「Real Sound Viewing 馬頭琴演奏再現」	2020	—	—	26,315	
		④企画展「おくり魅かれる音・音色～バンドネオンの謎と真実～」	—	—	—	—	
事業②		ミュージアムサロン(通年開催・計5回)	2022	—	—	892	
		—	2021	—	—	776	
		—	2020	—	—	557	
事業③		レクチャーコンサート(計4回)	2022	—	—	359	
		—	2021	—	—	480	
	—	2020	—	—	525		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。一定規模の修繕については指定管理者負担で行ってもらっているものの、大規模な改修や設備更新については市で実施する必要がある。特に舞台設備については、改修に巨額な費用が必要になることから、緊急性の高いものから更新、改修を行っている。					
	対応策	平成23年度に中長期計画、平成27年度に平成28年度から平成32年度までの5年間の短期計画、令和元年度に令和3年度から令和12年度までの10年間の計画、令和2年度に建築後80年までの長期修繕計画を作成し、計画的に改修等を行うとともに、突発的な緊急修繕にも対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	展示の更新やソフト事業の企画・運営などについて、民間活力を活用していく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	66	1,918	120	1人当たりのコスト(円)	11	520	41	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	2,171	62,810	4,615	
	1日当たり利用者(人)	193	121	114	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)							
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
		<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。</p>		<p>利用用途別分組毎の方向性</p> <p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>					
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—	
適切な維持管理に努める。平成27年度にリニューアルを実施したことから、さらなる来場者増を目指す。									

リストNo	04-004	施設コード	02339
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	動物園		
所在(町名・番地)	西区館山寺町199		
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	公園
所管課	本庁	都市整備部動物園	課長名 岩淵 肇
	施設	都市整備部動物園	課長名 岩淵 肇
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	<p>実際に見ることで、動作や色、声などそれぞれの動物が持つ様々な特徴を知ってもらい、動物が置かれている環境やいのちの大切さなどについて、学習する場を提供する。 また、動物園としては、飼育動物の種の保存をはじめ、園内で快適に暮らせるよう飼育を通して生態の調査、研究を行う。</p>		
主な利用者	市民全般、観光客		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 16:30		
建物情報	総延床面積	10,947.30	土地面積 217,753.02
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1983/1/1	
	経過年数(主要建物)	40	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



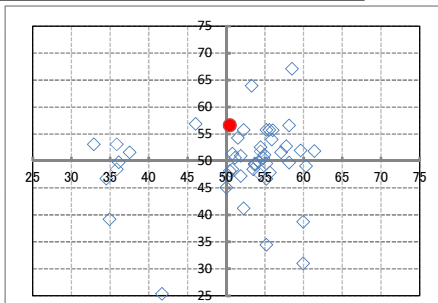
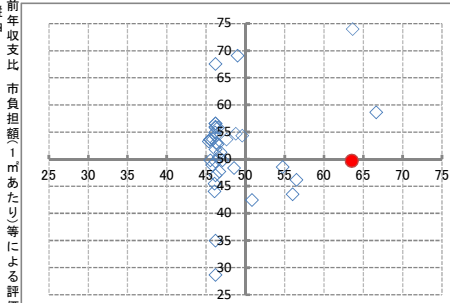
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	62,888	62,972	29,930
	国県支出金	959	959	959
	その他収入	2,820	2,613	1,658
	収入計(A)	66,667	66,544	32,547
支出(千円)	人件費	230,400	230,400	229,200
	物件費(委託料)	24,069	24,773	39,615
	維持補修費(修繕費)	16,672	3,672	7,963
	物件費(光熱水費)	39,221	30,929	28,909
	物件費(借地料)	13,917	14,017	14,995
	支出計(B)	324,279	303,791	320,682
行政コスト(B-A)	257,612	237,247	288,135	
収支前年比	108.58	82.34	109.22	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	16,643	19,189	19,464	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	370,342	365,349	276,163
	開館日数/年	362	362	362
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	666,845	281,379	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	給排水設備改修工事(3期工事)	110,990	2021	公衆トイレ改築工事(電気設備工事)	8,289
2022	電気設備室屋根改修工事	14,330	2021	公衆トイレ改築工事(建築工事)	93,470
2022	園路舗装整備工事	10,589	2020	いのちのふれあいゾーン整備工事(建築工事)	229,550
2021	給排水設備改修工事(2期工事)2工区	48,389	2020	いのちのふれあいゾーン整備工事(電気設備工事)	55,402
2021	汚水処理施設改修工事	4,070	2020	いのちのふれあいゾーン整備工事(機械設備工事)	86,187
2021	公衆トイレ改築工事(機械設備工事)	28,100	2020	いのちのふれあいゾーン第3期整備工事	22,701

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-005	フラワーパーク	広域	0.6
04-019	館山寺ターミナル事務所	地域	1.3
04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等	1.5
16-003	動物愛護教育センター	市域	0.0
08-037	北庄内幼稚園	生活	0.4
25-049	上下水道部西営業所		0.5
18-064	旧北庄内小学校	地域	0.7
14-052	浜松第39分団	コミュニティ	0.9
03-096	平松会館	コミュニティ	1.2
20-006	平和最終処分場	地域	1.2
20-007	静ヶ谷排水処理施設	地域	1.5



基本情報	リストNo	04-004	施設コード	02339	所管課	本庁	都市整備部動物園
	施設名	動物園		施設	都市整備部動物園		
	人員数	正規職員(人)	30	会計年度任用職員(人)	6	再任用(人)	1
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	動物園の再生					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		実際に見ることで、動作や色、声などそれぞれの動物が持つ様々な特徴を知ってもらい、動物が置かれている環境やいのちの大切さなどについて、学習する場を提供する。また、動物園としては、飼育動物の種の保存をはじめ、園内で快適に暮らせるよう飼育を通して生態の調査、研究を行う。					
		主な業務内容	動物の飼育・展示、				
		主な利用者	市民全般、観光客				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の需要があり、確保されている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化が進んでいるが、教育活動(ふれあい含む)の展開により維持の見込み				
	特記事項		H26. 4月 動物愛護教育センター併設				
	主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		動物の飼育・展示	2022	152,935	—	370,342	
			2021	140,266	—	365,349	
			2020	144,677	—	276,163	
			2022	1,028	—	10,935	
事業②		ナイトZOO	2021	724	—	1,743	
			2020	—	—	—	
事業③		春の写生大会、秋の写生大会	2022	254	—	662	
			2021	260	—	663	
			2020	130	—	274	
事業④	動物学習教室、職場体験学習	2022	581	—	5,697		
		2021	413	—	4,435		
2020	—	—	1,507				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	館山寺地区に移転後、40年近く経過しているため、老朽化により改修等が必要な施設が目立つ。また、開園当初から使用している多くの施設は、動物福祉の観点に配慮した造りとなっていない。園内は起伏が大きく坂道が多いため、小さな子どもや高齢者にとっては、徒歩のみで観覧するには多少負担が大きい。					
	対応策	動物園再生計画に取組み、動物学習の場の提供、展示動物種及び方法など東海地区における特色ある動物園づくりを目指す。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	可能な限り、民間活力を導入をするよう検討する。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	23,532	21,672	26,320	1人当たりのコスト(円)	696	649	1,043
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	711,635	655,378	795,953
	1日当たり利用者(人)	1,023	1,009	763	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。明確な方向性を示したうえでリニューアルを検討するとともに、民間活力導入も検討する。</p>								

リストNo	04-005	施設コード	00464	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	フラワーパーク			
所在(町名・番地)	西区館山寺町195			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	公園	
所管課	本庁	都市整備部緑政課	課長名 廣野 浩之	
	施設	都市整備部緑政課	課長名 廣野 浩之	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市都市公園条例			
設置目的	花みどり園芸文化の普及や園芸情報発信機能の強化及び浜名湖周辺の地域振興			
主な利用者	市内外住民及び観光客など			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	(公財)浜松市花みどり振興財団			
開館時間	9:00 ~ 17:00			
建物情報	総延床面積	6,377.11	土地面積 148,960.04	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2003/3/1		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	57,900	—	57,900	
財源	国・県	29,000	—	29,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	28,900	—	28,900
	一般財源	—	—	—
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	388,039	323,783	274,762
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	29,175	15,918	22,469
	収入計(A)	417,214	339,701	297,231
支出(千円)	人件費	157,171	258,082	252,302
	物件費(委託料)	39,061	40,305	34,174
	維持補修費(修繕費)	11,392	9,711	4,896
	物件費(光熱水費)	27,598	18,190	16,477
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	235,222	326,288	307,849	
行政コスト(B-A)	-181,992	-13,413	10,618	
収支前年比	1356.83	-126.32	-4.89	
(参考)指定管理料	136,200	192,891	243,987	
(参考)減価償却費	41,515	41,515	41,515	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	408,881	352,359	351,176
	開館日数/年	362	323	318
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	634,452	559,010	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	高架水槽解体撤去工事	9,240	2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)ハク機改修工事	32,230
2022	SL屋根塗装工事	6,969	2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)井水受水槽更新工事	74,800
2021	受変電設備改修工事	46,739	2020	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)舗装修繕工事	10,825
2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)舗装修繕工事	10,771	2020	令和2年度 フラワーパーク休憩所新築工事	25,408
2021	フラワーパーク東屋新築工事	19,682	2019	令和元年度 モザイクカルチャー館体撤去及び整地工事	6,848
2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)舗装改修工事	12,320	2019	令和元年度 市民体育館改修工事	10,848

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-004	動物園	広域	0.6
04-019	館山寺ターミナル事務所	地域	1.7
16-003	動物愛護教育センター	市域	0.6
25-049	上下水道部西営業所		0.6
08-037	北庄内幼稚園	生活	0.7
20-006	平和最終処分場	地域	0.7
03-096	平松会館	コミュニティ	0.8
18-064	旧北庄内小学校	地域	0.8
14-052	浜松第39分団	コミュニティ	0.9
20-007	静ヶ谷排水処理施設	地域	1.5



基本情報	リストNo	04-005	施設コード	00464	所管課	本庁	都市整備部緑政課	
	施設名	フラワーパーク		施設	都市整備部緑政課			
	人員数	正規職員(人)	27	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	緑化推進・緑地保全						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		花みどり園芸文化の普及や園芸情報発信機能の強化及び浜名湖周辺地域振興						
		主な業務内容	園芸文化の普及					
		主な利用者	市内外住民及び観光客など					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			園内動画投稿等により、新たな顧客層やリピーターを獲得している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			浜名湖観光圏を代表する観光施設として定着し、安定して入園者を確保する。				
	特記事項			コロナ収束後のインバウンド需要が見込める。				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	はままつフラワーパークの運営	2022	—	—	408,881		
			2021	—	—	352,359		
			2020	—	—	351,176		
			2022	—	—	—		
事業②	—	2021	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	指定管理者制度の導入により、フラワーパークの入園者はV字回復した。安定した入園者を継続して確保するために、魅力を高める施設整備やイベントの開催を進める必要がある。						
	対応策	魅力を高める施設整備や老朽化施設の改修を計画的に実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—			
民生導入	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			
民生導入	指定管理者制度を導入し、一定の成果を収めている。また、地域民間企業との連携を深め、多角的に支援や協力を得る活動にも注力し、成果を得ている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-28,538	-2,103	1,665	1人当たりのコスト(円)	-445	-38	30
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-502,740	-41,526	33,390
	1日当たり利用者(人)	1,130	1,091	1,104	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。施設のリニューアル時には、時代に即した施設のあり方を検討する。</p>								

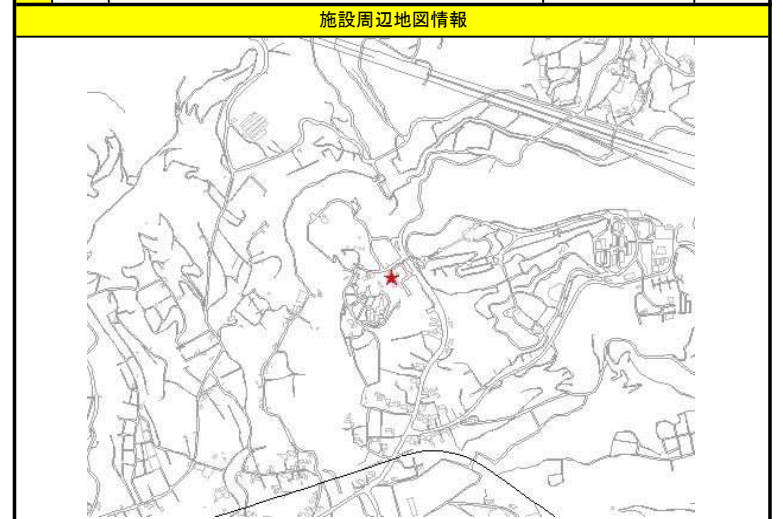
リストNo	04-006	施設コード	00117	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	フルーツパーク			
所在(町名・番地)	北区都田町4263-1			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部農業水産課	課長名 前野 隆典	
	施設	産業部農業水産課	課長名 前野 隆典	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市フルーツパーク条例			
設置目的	果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくることにより、農業及びその関連事業の振興を図り、もって地域の活性化に資すること。			
主な利用者	市民			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~			
管理者名	(株)時之栖			
開館時間	9:00 ~ 17:00			
建物情報	総延床面積	11,693.65	土地面積 413,968.53	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1996/10/1		
	経過年数(主要建物)	26		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	9,814,922	—	9,814,922
財源	国・県	459,268	—	459,268
	寄付金	—	—	—
	その他	371,350	—	371,350
	市債	—	—	—
	一般財源	8,984,304	—	8,984,304
特記事項	—			



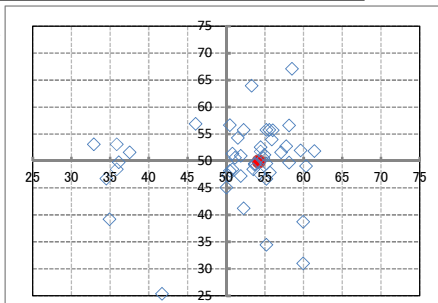
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	323,654	282,411	80,070
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	579	9,556	501
	収入計(A)	324,233	291,967	80,571
支出(千円)	人件費	196,453	196,810	144,519
	物件費(委託料)	16,805	13,755	16,141
	維持補修費(修繕費)	62,220	13,603	43,061
	物件費(光熱水費)	32,387	21,747	15,560
	物件費(借地料)	16,332	16,446	17,507
	支出計(B)	324,197	262,361	236,788
行政コスト(B-A)		-36	-29,606	156,217
収支前年比		0.12	-18.95	176.65
(参考)指定管理料		87,446	87,446	113,959
(参考)減価償却費		60,382	60,439	60,568
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	230,759	179,882
	開館日数/年	—	326	323
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,000,555	562,222	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	自動火災報知設備及び放送設備改修工事	37,950	2018	光配線等改修工事	16,999
2022	温室環境制御装置更新工事(第2期工事)	15,180	2018	汚水処理設備改修工事	9,298
2021	売店空調設備更新工事	13,882	2017	汚水処理設備改修工事	17,344
2019	温室環境制御装置更新工事	8,690	2016	給水設備及び汚水処理設備改修工事	26,126
2018	消防設備復旧及び雷害対策工事	9,962	2015	遊具塗装等改修工事	19,440
2018	中央監視装置更新工事	17,820	2015	放送設備雷害対策工事	6,156

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-058	滝沢キャンプ場	小規模等	1.1
01-009	農業バイオセンター	市域	0.9
14-001	消防ヘリポート	広域	1.0
15-132	都田中学校	生活	1.4
14-066	浜松第31分団	コミュニティ	1.7
18-009	大平書庫	地域	1.7
14-092	雉玉分団大平	コミュニティ	1.7
03-051	都田協働センター	生活	1.8



基本情報	リストNo	04-006	施設コード	00117	所管課	本庁	産業部農業水産課
	施設名	フルーツパーク			施設	施設	産業部農業水産課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	果樹産地活性化特別対策事業場、農林業体験実習館					
	関連政策名	生産基盤の安定による農業振興					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくることにより、農業及びその関連事業の振興を図り、もって地域の活性化に資すること。					
		主な業務内容	施設運営業務、施設維持管理業務				
		主な利用者	市民				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
地域に親しまれる施設として根付いており一定のニーズが継続して見込める							
特記事項							
—							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
—		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	設置後26年が経っているため、施設及び設備の老朽化が進んでおり、交換部品のない設備も増えてきているため、早期に更新を行っていく必要がある。					
	対応策	修繕計画に基づき、利用者の安全性や施設の運営に与える影響の大きさを考慮して、更新を行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	指定管理施設として運営しており、指定管理者の行う施設整備や自主事業を積極的に認めることで民間活力を活用していく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-3	-2,532	13,359	1人当たりのコスト(円)	—	-128	868
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	-90,816	483,644
	1日当たり利用者(人)	—	708	557	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)			供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)
参考	 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 建物状況(耐震性、築年数等)による評価</p>				 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 利用状況等による評価</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。施設のリニューアル時には、時代に即した施設のあり方を検討する。								

リストNo	04-007	施設コード	04366		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	国民宿舎奥浜名湖				
所在(町名・番地)	北区細江町気賀1023-1				
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名	杉田 実良	
	施設	北区・まちづくり推進課	課長名	佐藤 卓	
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市国民宿舎奥浜名湖条例				
設置目的	市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光の振興を図るため。				
主な利用者	浜松市民、観光客				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~				
管理者名	ヤタロー・共同グループ				
開館時間	9:00 ~ 21:00				
建物情報	総延床面積	3,143.18	土地情報	土地面積	4,075.64
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	4		うち借地面積	4,075.64
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		代表地目(現況地目)	
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2003/12/13			
	経過年数(主要建物)	19			
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	R4.4月～R5.3月までコロナ禍において施設運営経費を抑制するため54日間休館。				



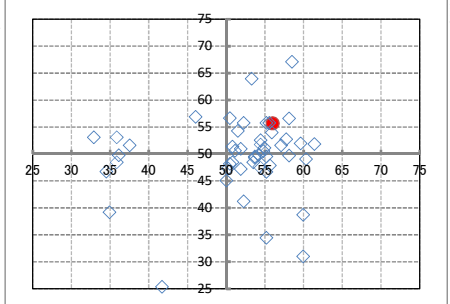
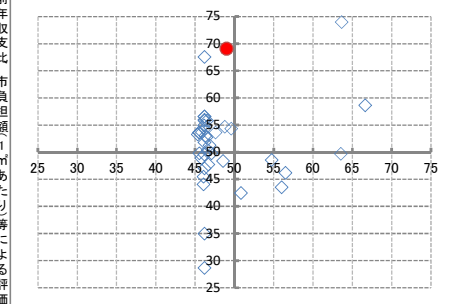
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	187,565	125,745	120,231
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	13,102	23,136	14,976
	収入計(A)	200,667	148,881	135,207
支出(千円)	人件費	53,526	62,391	65,453
	物件費(委託料)	11,165	8,451	8,791
	維持補修費(修繕費)	5,260	71,843	8,179
	物件費(光熱水費)	20,198	16,310	15,676
	物件費(借地料)	1,350	1,350	1,350
	支出計(B)	91,499	160,345	99,449
行政コスト(B-A)	-109,168	11,464	-35,758	
収支前年比	-952.27	-32.06	23.55	
(参考)指定管理料	0	0	40,215	
(参考)減価償却費	16,162	16,162	16,162	
利用状況	利用コマ数/年	4,156	2,759	2,343
	利用可能コマ数/年	10,263	7,344	12,122
	施設利用者数/年	53,080	40,332	41,951
	開館日数/年	311	251	319
	施設定員数	110	110	110
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	157,718	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	電話設備更新工事	3,630	2017	国民宿舎奥浜名湖厨房屋根他防水改修工事	3,750
2021	共用部エアコン更新工事	59,510	2017	国民宿舎奥浜名湖客室エアコン更新工事	15,247
2019	国民宿舎奥浜名湖客室他屋根改修工事	7,827	2016	温水設備ろ過設備改修工事	17,496
2018	国民宿舎奥浜名湖エレベーター改修工事	3,985	2012	3階デッキ天井壁破損修繕工事	4,379
2018	国民宿舎奥浜名湖浄化槽移転新設工事	69,638			
2018	国民宿舎奥浜名湖ロビー屋上防水改修工事	5,832			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-021	姫街道と銅鐺の歴史民俗資料館	地域	0.1
04-024	気賀閣所	地域	0.5
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.6
同分類			
15-067	気賀小学校	生活	0.4
03-012	みをつくし文化センター	地域	0.5
06-015	細江図書館	地域	0.5
10-014	細江介護予防センター	地域	0.5
15-129	細江中学校	生活	0.5
09-006	細江健康センター	地域	0.5
01-017	北区役所	地域	0.5
08-053	中央幼稚園	生活	0.6
その他の分類			



基本情報	リストNo	04-007	施設コード	04366	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課
	施設名	国民宿舎奥浜名湖			施設	北区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光の振興を図るため。					
		主な業務内容	国民宿舎の利用の許可に関する業務、国民宿舎の施設及び設備の維持管理に関する業務				
		主な利用者	浜松市民、観光客				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光振興施設として一定の需要が見込まれる。				
		特記事項	—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2019	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2019	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2019	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設のリニューアルから15年以上を経過し、経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。指定管理者制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、一定規模の修繕については、指定管理者において実施しているものの、大規模な改修等は市で実施する必要がある。					
	対応策	優先度を設定し修繕計画を立て、計画的に修繕を行うとともに、突発的な緊急修繕には事後保全により対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	○	—	施設の状況を見て、継続、貸付、廃止など様々な可能性を検討	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
	民活導入	平成23年度に指定管理者制度を導入済み。					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-34,732	3,647	-11,376	1人当たりのコスト(円)	-2,057	284	-852
	施設利用率(%)	40.5	37.6	19.3	1開館日当たりのコスト(円)	-351,023	45,673	-112,094
	1日当たり利用者(人)	171	161	132	1定員当たりのコスト(円)	-992,436	104,218	-325,073
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。							

リストNo	04-008	施設コード	05123	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	浜松科学館			
所在(町名・番地)	中区北寺島町256-3			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松科学館条例			
設置目的	科学に関する知識の普及及び啓発を図る(浜松科学館条例第1条)			
主な利用者	保育園・幼稚園の園児、小・中・高校の児童・生徒、一般			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/07/01 ~			
管理者名	乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体			
開館時間	9:30 ~ 17:00			
建物情報	総延床面積	6,891.95	土地面積 9,797.48	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	4		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1986/1/1		
	経過年数(主要建物)	37		
用途地域	商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	3,478,046	—	3,478,046
財源	国・県	169,970	—	169,970
	寄付金	14,000	—	14,000
	その他	100,000	—	100,000
	市債	2,599,500	—	2,599,500
	一般財源	594,576	—	594,576
特記事項	—			



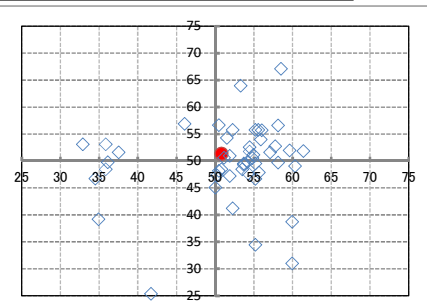
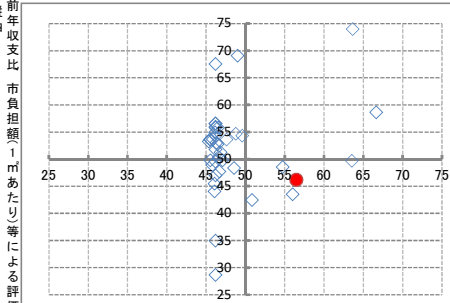
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	61,198	38,419	32,031
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6,293	2,861	2,987
	収入計(A)	67,491	41,280	35,018
	支出(千円)	人件費	124,244	121,339
	物件費(委託料)	34,963	35,708	34,533
	維持補修費(修繕費)	6,461	9,071	16,047
	物件費(光熱水費)	47,400	30,437	25,120
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	213,068	196,555	200,013
	行政コスト(B-A)	145,577	155,275	164,995
	収支前年比	93.75	94.11	171.39
	(参考)指定管理料	151,871	150,826	165,693
	(参考)減価償却費	95,994	95,994	95,994
利用状況	利用コマ数/年	193	28	28
	利用可能コマ数/年	4,342	815	561
	施設利用者数/年	186,949	128,183	97,730
	開館日数/年	313	312	255
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	991,164	1,247,923	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	浜松科学館大規模改修工事 プラネタリウム改修工事	219,510			
2018	浜松科学館大規模改修工事 機械設備工事	379,756			
2018	浜松科学館大規模改修工事 電気設備工事	61,386			
2018	浜松科学館大規模改修工事 建築工事	178,124			
2014	ようこそLEDの世界へ(展示更新工事)	14,990			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン	広域	0.2
04-014	浜松復興記念館	地域	1.2
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.4
04-001	浜松城公園天守閣	広域	1.6
04-009	美術館	市域	1.7
04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.8
12-001	アクトシティ浜松Cゾーン	広域	0.1
19-001	駅北駐車場	地域	0.2
14-033	浜松第5分団	コミュニティ	0.2
18-002	北寺島倉庫	地域	0.3
11-003	子育て情報センター	市域	0.3
08-009	なのはな保育園	生活	0.3
19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.4
09-004	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.4



基本情報	リストNo	04-008	施設コード	05123	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	浜松科学館				施設	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		科学に関する知識の普及及び啓発を図る(浜松科学館条例第1条)						
		主な業務内容	展示業務、貸館(ホール・講座室)業務、科学学習等講座開催業務					
		主な利用者	保育園・幼稚園の園児、小・中・高校の児童・生徒、一般					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
	特記事項							
	設置に関する課題等(ハード面から)	事業名・開催回数(2022)						
事業①		サイエンスショー実施事業	2022	—	—	51,110		
		科学館のメインコンテンツとして演者と参加者がショーを通して交流することを目的に、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムを1日5回実施。	2021	—	—	39,096		
			2020	—	—	27,544		
			2022	—	—	82,522		
事業②		プラネタリウム投影事業	2022	—	—	82,522		
		キッズプラネタリウム、生解説プラネタリウム、大型映像及び学習投影を実施。 ※2021年度は機器リニューアルに伴い休止期間あり	2021	—	—	39,518		
			2020	—	—	42,742		
事業③		ミニワークショップ実施事業	2022	—	—	16,659		
		観察、実験、工作等のプログラムを通してスタッフと利用者がコミュニケーションを図りながら、体験時間30分未満で気軽に参加できるように実施。	2021	—	—	18,526		
		2020	—	—	10,694			
事業④	「夏の特別展」開催事業	2022	—	—	7,038			
	※2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず	2021	—	—	—			
	2020	—	—	—	—			
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	リニューアル後も引き続き、経年劣化に対応していく必要がある。						
	対応策	各種点検を実施し、緊急性の高いものから修繕等を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	民活導入	複合化	—	—	—	—		
		広域化	—	—	—	—		
	2006年度より指定管理制度を導入しており、今後も指定管理による運営を継続していく。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	21,123	22,530	23,940	1人当たりのコスト(円)	779	1,211	1,688
	施設利用率(%)	4.4	3.4	5.0	1開館日当たりのコスト(円)	465,102	497,676	647,039
	1日当たり利用者(人)	597	411	383	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	展示・備品更新	—
	令和元年度にリニューアルオープン。今後は、適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図る。なお、2024年と2026年に一部展示更新を予定している。							

リストNo	04-009	施設コード	02341	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	美術館			
所在(町名・番地)	中区松城町100-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部美術館	課長名 飯室 仁志	
	施設	市民部美術館	課長名 飯室 仁志	
設置根拠(法)	博物館法			
条例	浜松市美術館条例			
設置目的	市民の美術に対する知識及び教養の向上並びに文化の振興に資するため博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市美術館条例第1条)			
主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客、行政視察者など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:30 ~ 17:00			
建物情報	総延床面積	2,621.72	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.16		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1971/7/1		
経過年数(主要建物)	51	土地情報 うち所有面積 0.00 うち借地面積 0.00 代表地目(現況地目)		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	250,000	—	250,000
	国・県	15,000	—	15,000
	寄付金	100,000	—	100,000
	その他	—	—	—
	市債	50,000	—	50,000
一般財源	85,000	—	85,000	
特記事項	—			



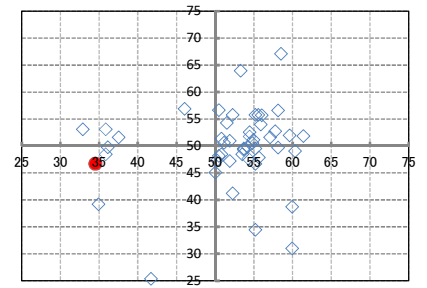
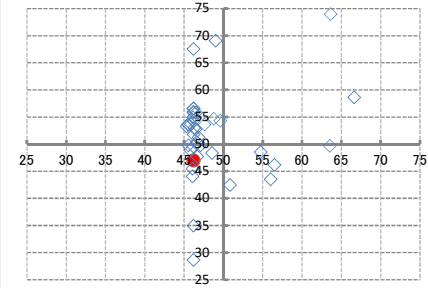
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,364	4,451	3,345
	国県支出金	6,401	6,800	161
	その他収入	333	318	919
	収入計(A)	10,098	11,569	4,425
	支出(千円)	人件費	69,907	53,437
	物件費(委託料)	8,205	8,564	9,205
	維持補修費(修繕費)	2,265	2,042	11,799
	物件費(光熱水費)	20,185	14,338	11,652
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	100,562	78,381	87,944
	行政コスト(B-A)	90,464	66,812	83,519
	収支前年比	135.40	80.00	117.51
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	1,253	19,554	19,554
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	61,413	48,856
	開館日数/年	—	199	163
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	40,151	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	防火扉改修工事	9,638	2017	施設大規模改修及びトラックヤード増築工事(電気設備工事)	55,690
2018	チリングユニット防音対策工事	4,104	2016	湯沸し室流し改修工事	1,026
2017	展示室照明設備改修工事	14,580	2016	配線ダクト改修工事	2,376
2017	屋上防水改修工事	8,100	2013	地下タンク改修工事	1,596
2017	施設大規模改修及びトラックヤード増築工事(機械設備工事)	124,155	2012	ハロンガス消火設備更新工事	1,796
2017	施設大規模改修及びトラックヤード増築工事(建築工事)	118,627	2011	第二収蔵庫空調設備設置工事	2,583

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.1
04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.4
04-014	浜松復興記念館	地域	0.7
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.8
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	1.0
04-013	賀茂真淵記念館	地域	1.4
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン	広域	1.5
04-008	浜松科学館	市域	1.7
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.1
01-001	本庁舎	市域	0.2
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.3
06-001	中央図書館	市域	0.3
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.5
14-002	消防局・中消防署	市域	0.5
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.5
01-002	元目分庁舎	市域	0.6



基本情報	リストNo	04-009	施設コード	02341	所管課	本庁	市民部美術館
	施設名	美術館		施設	市民部美術館		
	人員数	正規職員(人)	9	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	美術館の魅力の創出					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の美術に対する知識及び教養の向上並びに文化の振興に資するため博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市美術館条例第1条)					
		主な業務内容	特別展・館蔵品展等の開催及び美術品の収集・保存並びに調査・研究、教育普及活動等				
		主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客、行政視察者など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		美術鑑賞に対して一定の利用があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も美術鑑賞に対する一定の利用が予想される。				
	特記事項		芸術・文化の主要施設として、必要不可欠である。				
	主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		特別展・企画展開催事業 開催日数:156日 企画展「遠藤美香展」「ハイジ展」「名刀 泰平を切り開く」	2022	47,115	55,000	30,945	
			2021	37,876	73,000	56,940	
			2020	57,032	67,000	40,887	
事業②		平常展等開催事業 開催日数:133日 「新収蔵品 佐々木松次郎作品」「青磁の美展」「岸田劉生のコレクター 山本貞次等展」「第70回市展」「子どもの市展」	2022	3,538	25,000	30,936	
			2021	2,936	6,500	4,473	
			2020	4,172	10,000	24,194	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	既存施設は築50年を超えているため、経年劣化による施設・設備の損傷が毎年発生している。長寿命化基本方針に示す目標使用年数80年までに新たな美術館整備方針の検討が必要。					
	対応策	既存施設においては当面、長寿命化計画に沿った改修を行うとともに、緊急性の高いものから修繕を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	○	建替えに向けて検討を行う際、指定管理の方向性も含めて検討する	
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	建替えに向けて検討を行う際、複合化の方向性も含めて検討する		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	建替えに向けて検討を行う際、PPP/PFIの方向性も含めて検討する						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	34,506	25,484	31,857	1人当たりのコスト(円)	—	1,088	1,709
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	335,739	512,387
	1日当たり利用者(人)	—	309	300	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	利用者等の圏域毎の方向性							
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。						
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	<p>各用途別に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。</p>						
		<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
長寿命化計画に沿った改修及び緊急性の高いものからの修繕の実施により、施設・設備の適切な維持管理を行うことで、良好な美術館環境を提供する。								

リストNo	04-010	施設コード	02340	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	博物館			
所在(町名・番地)	中区蛸塚四丁目22-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆	
	施設	市民部文化財課	課長名 平田 隆	
設置根拠(法)	博物館法			
条例	浜松市博物館条例			
設置目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市博物館条例第1条)			
主な利用者	市民、児童生徒、観光客			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00～17:00			
建物情報	総延床面積	3,197.90	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.12		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1979/4/1		
経過年数(主要建物)	44	土地情報	うち所有面積 0.00	
			うち借地面積 0.00	
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	867,336	—	867,336	
財源	国・県	178,000	—	178,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	450,000	—	450,000
	一般財源	239,336	—	239,336
特記事項	蛸塚遺跡(公園)の借地料を含む。 蛸塚遺跡(公園)の目的外使用料を含む。			



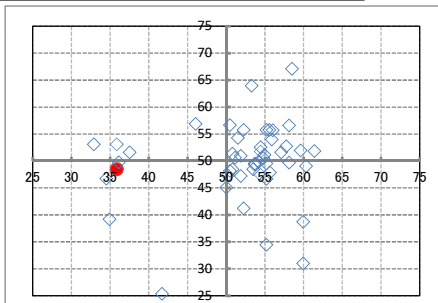
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	3,501	2,467	2,987
	国県支出金	0	864	0
	その他収入	3,211	2,345	4,551
	収入計(A)	6,712	5,676	7,538
	支出(千円)	人件費	86,029	85,987
物件費(委託料)		6,844	9,903	6,997
維持補修費(修繕費)		1,519	2,188	2,902
物件費(光熱水費)		8,781	5,853	5,586
物件費(借地料)		4,471	4,424	4,641
支出計(B)	107,644	108,355	109,577	
行政コスト(B-A)	100,932	102,679	102,039	
収支前年比	98.30	100.63	100.93	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	23,539	23,539	23,539	
利用状況	利用コマ数/年	4,499	2,353	23
	利用可能コマ数/年	6,816	6,720	1,619
	施設利用者数/年	42,963	54,046	41,991
	開館日数/年	284	280	262
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	164,771	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市博物館屋根改修工事	12,338	2011	ハロンガス消火設備更新工事	8,610
2019	令和元年度 浜松市博物館講座室排煙窓改修工事	4,649	2010	常設展示室改修工事	37,779
2015	空調熱源設備改修工事	25,920	2010	特別展示室他改修工事	4,174
2015	正面玄関前広場改修工事	18,058	2008	空調設備改修工事(機械設備工事)	24,570
2014	体験学習室他空調設備改修工事	10,908	2008	展示室コンコース空調機更新工事	17,094
2013	特別展示室・講座室空調設備改修工事	23,734			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-034	蛸塚遺跡	文化財	0.0
04-035	旧高山家	文化財	0.0
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	1.6
04-013	賀茂真淵記念館	地域	1.7
04-009	美術館	市域	1.9
04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.9
04-001	浜松城公園天守閣	広域	2.0
16-001	看護専門学校	市域	0.4
22-001	浜松医療センター	広域	0.4
15-109	蛸塚中学校	生活	0.5
13-018	蛸塚団地	地域	0.7
24-003	鴨江雨水調整池	—	0.8
15-099	佐鳴台中学校	生活	0.8
08-005	佐鳴台保育園	生活	0.9
07-009	さなる放課後児童会	生活	0.9



基本情報	リストNo	04-010	施設コード	02340	所管課	本庁	市民部文化財課	
	施設名	博物館		施設	市民部文化財課			
	人員数	正規職員(人)	9	会計年度任用職員(人)	7	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市博物館条例第1条)						
		主な業務内容	市域の文化財の収集保管・展示、歴史情報の調査と公開、歴史体験講座、移動博物館等					
		主な利用者	市民、児童生徒、観光客					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地域史の検証と歴史文化の継承の場として重要性が高まる。			
		特記事項			地域の歴史文化を創造する中核都市としての役割が増す。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		常設展・テーマ展・特別展開催事業	2022	13,203	不特定	参加者数		
			2021	2,366	不特定	29,311		
			2020	7,496	不特定	24,032		
事業②		講座・体験館等開催事業	2022	1,751	不特定	11,416		
			2021	1,797	不特定	19,427		
			2020	1,476	不特定	11,127		
事業③		学校・団体利用事業	2022	—	不特定	8,738		
			2021	—	不特定	8,105		
			2020	—	不特定	6,611		
事業④	—	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
		2020	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築40年が経過し、長寿命化を図るための大規模改修が必要な時期にきている。						
	対応策	必要な修繕、長寿命化対策工事を行う。博物館のリニューアルに向けて構想・計画を策定する。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	○	—	指定管理者制度を含めた民間活力導入を検討中		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	蜷塚遺跡の保存活用と併せた再整備として、将来像及び事業手法を検討している。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	31,562	32,108	31,908	1人当たりのコスト(円)	2,349	1,900	2,430
	施設利用率(%)	66.0	35.0	1.4	1開館日当たりのコスト(円)	355,394	366,711	389,462
	1日当たり利用者(人)	151	193	160	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見直しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。</p> <p>館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	指定管理	(2)改修・更新時	検討中	(3)その他	展示・備品更新	—
蜷塚遺跡保存活用計画と連携して、博物館のリニューアルに向けて構想・計画を策定する。								

リストNo	04-011	施設コード	00021			
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設					
施設名	あらたまの湯					
所在(町名・番地)	浜北区四大地9-921					
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名	杉田 実良		
	施設	浜北区・まちづくり推進課	課長名	山本 佳弘		
設置根拠(法)	条例					
条例	浜松市浜北温泉施設あらたまの湯条例					
設置目的	福祉の向上及び健康の増進並びに地域の観光振興を図る					
主な利用者	観光客、市民等					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~					
管理者名	浜名梱包輸送(株)					
開館時間	9:00 ~ 21:00					
建物情報	総延床面積	2,069.72	土地面積	27,491.48		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	758.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	26,733.48
	建築年月日(主要建物)	2007/3/16				
	経過年数(主要建物)	16				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



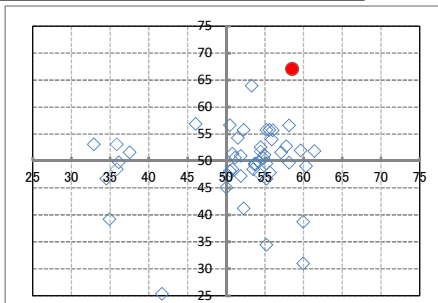
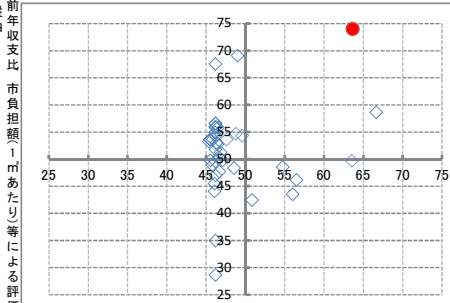
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	153,131	104,845	92,147
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	93,520	66,193	70,189
	収入計(A)	246,651	171,038	162,336
支出(千円)	人件費	54,034	51,051	56,892
	物件費(委託料)	13,219	11,437	12,217
	維持補修費(修繕費)	7,933	15,769	7,221
	物件費(光熱水費)	72,743	50,803	42,095
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	147,929	129,060	118,425
行政コスト(B-A)	-98,722	-41,978	-43,911	
収支前年比	235.18	95.60	32.13	
(参考)指定管理料	0	0	6,666	
(参考)減価償却費	25,210	25,210	25,210	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	258,346	179,485	161,603
	開館日数/年	340	278	283
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	7	434,312	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	令和3年度 浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設復旧工事	11,176	2013	源泉施設湯ポンプオーバーホール工事	7,875
2020	令和4年度 浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯ポンプ設置工事	11,012	2013	救護室新設工事	4,095	
2019	源泉施設復旧工事	8,239	2008	湯ポンプオーバーホール工事	4,552	
2018	浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯ポンプ設備復旧工事(災害復旧)	11,556	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(建築工事)	535,500	
2017	平成29年度浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯ポンプ設置工事	6,264	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(給排水衛生設備工事)	159,131	
2015	源泉施設 湯湯ポンプ取替工事	5,994	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(電気設備工事)	88,940	

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
21-004	浜北斎場	地域	0.2
20-013	浜北環境センター	地域	0.7
15-136	鹿玉中学校	生活	0.9
05-023	明神池運動公園	地域	1.1
13-065	宮口団地	地域	1.4
07-061	鹿玉イーグルクラブ	生活	1.4
15-084	鹿玉小学校	生活	1.4
08-062	宮口幼稚園	生活	2.0



基本情報	リストNo	04-011	施設コード	00021	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課
	施設名	あらたまの湯			施設	本庁	浜北区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		福祉の向上及び健康の増進並びに地域の観光振興を図る					
		主な業務内容	温泉施設入浴の提供				
		主な利用者	観光客、市民等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者数は堅調に推移することが見込まれる。				
	特記事項		固定客が多い。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
	2020		—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	温泉湯湯ポンプの故障が頻発しているほか、経年劣化による施設根本に係る設備の不具合が増えてきている状況である。					
	対応策	基本協定に基づき修繕を行っているが、施設管理者とのリスク分担を基本的に予算の範囲内において優先順位を付けて平準化し、計画的に必要な改修を行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—	—		
民活導入	引き続き、指定管理による運営を実施していく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-47,698	-20,282	-21,216	1人当たりのコスト(円)	-382	-234	-272
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-290,359	-151,000	-155,163
	1日当たり利用者(人)	760	646	571	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。</p> <p>館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>現行の指定管理による運営を継続する。また、施設の修繕計画を作成し、計画的な維持修繕を実施していく。</p>								

リストNo	04-012	施設コード	01172
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	秋野不矩美術館		
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣130		
利用者の圏域別分類等	市域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部美術館	課長名 飯室 仁志
	施設	市民部美術館	課長名 飯室 仁志
設置根拠(法)	博物館法		
条例	浜松市美術館条例		
設置目的	郷土の作家、秋野不矩の作品を収集、保管、調査研究を行い、研究成果を様々な展覧会を通して広く市民に紹介する。また、他地区の美術館や博物館との連携も深めながら、地域の文化、創造を発信する拠点としての機能も担っていく。		
主な利用者	一般市民、他県からの観覧者		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~		
管理者名	公益財団法人浜松市文化振興財団		
開館時間	9:30 ~ 17:00		
建物情報	総延床面積	999.64	土地面積 19,306.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1997/11/18	
	経過年数(主要建物)	25	
用途地域	第二種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	1,131,244	—	1,131,244
財源	設置事業費	1,131,244	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	1,131,244	—	1,131,244
特記事項	—		



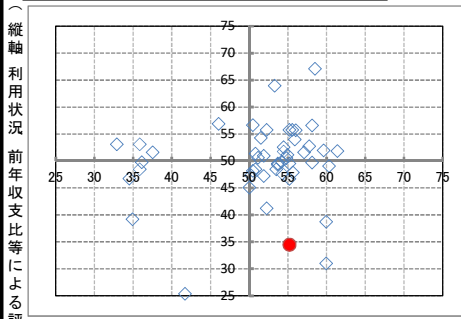
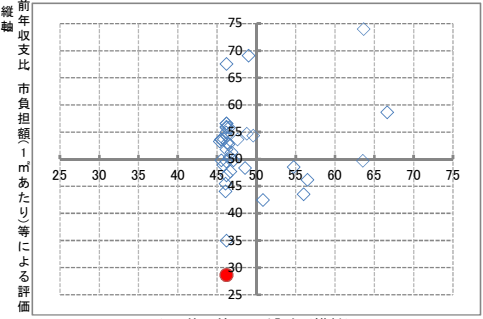
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	6,147	5,203
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4	1,573	1,274
	収入計(A)	4	7,720	6,477
支出(千円)	人件費	17,875	33,081	29,965
	物件費(委託料)	9,561	6,104	10,262
	維持補修費(修繕費)	306	673	1,467
	物件費(光熱水費)	7,550	5,305	4,131
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	35,292	45,163	45,825	
行政コスト(B-A)		35,288	37,443	39,348
収支前年比		94.24	95.16	113.48
(参考)指定管理料		76,660	0	0
(参考)減価償却費		10,737	10,737	10,737
利用状況	利用コマ数/年	—	111	111
	利用可能コマ数/年	—	174	441
	施設利用者数/年	—	20,358	15,810
	開館日数/年	—	265	181
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	658,528	268,431	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	浜松市秋野不矩美術館屋根・外壁改修工事	4,048			
2019	屋根・外壁点検改修工事	22,308			
2019	空調改修工事	31,453			
2016	自動火災報知設備更新工事	4,903			
2015	監視カメラ設備更新工事	2,976			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-030	ヤマタケの蔵	地域	0.4
04-042	ものづくり伝承館	文化財	0.5
04-047	二俣歴史散策路	小規模等	0.7
04-025	内山真龍資料館	地域	1.4
04-044	田代家住宅	文化財	1.4
その他の分類			
03-058	二俣協働センター	生活	0.1
08-082	二俣幼稚園	生活	0.2
13-085	田組西団地	地域	0.2
14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ	0.4
14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	0.5
15-096	二俣小学校	生活	0.6
07-067	ふたまた児童クラブ	生活	0.6
03-016	天竜壬生ホール	地域	0.7



基本情報	リストNo	04-012	施設コード	01172	所管課	本庁	市民部美術館
	施設名	秋野不矩美術館		施設	市民部美術館		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		郷土の作家、秋野不矩の作品を収集、保管、調査研究を行い、研究成果を様々な展覧会を通して広く市民に紹介する。また、他地区の美術館や博物館との連携も深めながら、地域の文化、創造を発信する拠点としての機能も担っていく。					
		主な業務内容					
		秋野不矩作品の収集・保管・調査研究業務、展示業務、市民ギャラリーの管理業務					
	主な利用者						
	一般市民、他県からの観覧者						
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
	新東名高速道路の開通に伴い、他地区からのニーズが高まってきている。						
中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
地元の方のニーズと他地区からのニーズの比率が変化する可能性がある。							
特記事項							
芸術・文化の拠点施設として必要不可欠である。							
主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
					のべ募集人員	参加者数	
	事業①	特別展開催事業 開催日数:120日		2022	27,682	14,000	13,937
		「インドに魅せられた作家 秋野不矩と西田俊英展」「源氏物語五十四帖展」「中村正義展-日本画を超えて-」		2021	14,757	8,000	7,660
		秋野不矩作品「ゼロ発祥の地インド 新たな世界へ」「生命の輝きⅠ いきいきと(生き生きと)」「生命の輝きⅡ さまざまな(様々な)」「生命の輝きⅢ みずみずしい(瑞々しい)」「生命の輝きⅣ ざらざらと(ザラザラと)」		2020	11,855	7,000	6,960
		秋野不矩作品「ゼロ発祥の地インド 新たな世界へ」「生命の輝きⅠ いきいきと(生き生きと)」「生命の輝きⅡ さまざまな(様々な)」「生命の輝きⅢ みずみずしい(瑞々しい)」「生命の輝きⅣ ざらざらと(ザラザラと)」		2022	4,512	8,000	7,181
	事業②	—		2021	2,748	13,000	12,698
		—		2020	5,971	9,000	8,136
		—		2022	—	—	—
	事業③	—		2021	—	—	—
—		2020	—	—	—		
—		2022	—	—	—		
事業④	—		2021	—	—	—	
	—		2020	—	—	—	
	—		2022	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	築後20年以上が経過し、徐々に機器類の機能低下が懸念される状況にある。一定規模の修繕については指定管理者負担で行っているものの、大規模な改修や設備更新については長寿命化計画等の整備計画に基づく対応が必要。					
	対応策	長寿命化計画に基づく改修を実施するとともに、突発的な緊急修繕にも随時対応し、適切な施設の維持管理に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
令和4年度に指定管理者制度を導入済み。今後も指定管理による運営を継続していく。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	35,301	37,456	39,362	1人当たりのコスト(円)	—	1,839	2,489
	施設利用率(%)	—	63.8	25.2	1開館日当たりのコスト(円)	—	141,294	217,392
	1日当たり利用者(人)	—	77	87	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性							
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	<p>各用途別に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。</p>						
		<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	指定管理	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	引き続き、指定管理者による運営を行う。							

リストNo	04-013	施設コード	00410
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	賀茂真淵記念館		
所在(町名・番地)	中区東伊場一丁目22-2		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆
	施設	市民部文化財課	課長名 平田 隆
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市立賀茂真淵記念館条例		
設置目的	浜松出身の国学者・賀茂真淵の業績および遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資する。		
主な利用者	遠江の国学者や歴史に興味のある人、キッズアートプロジェクト参加者、県居小学校各学年や市内近郊小中学生		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	(一社)浜松史蹟調査顕彰会		
開館時間	9:30 ~ 17:00		
建物情報	総延床面積	715.66	土地面積 3,248.79
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1984/3/31	
	経過年数(主要建物)	39	
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



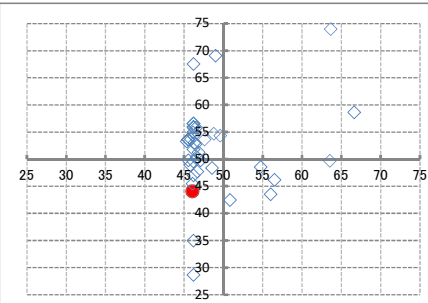
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	146	180	143
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	632	658	964
	収入計(A)	778	838	1,107
	支出(千円)	人件費	14,194	14,178
物件費(委託料)		1,668	1,668	1,778
維持補修費(修繕費)		13	679	611
物件費(光熱水費)		1,680	1,373	1,317
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	17,555	17,898	17,817	
行政コスト(B-A)		16,777	17,060	16,710
収支前年比		98.34	102.09	100.92
(参考)指定管理料		21,780	21,780	22,000
(参考)減価償却費		7,793	7,793	7,793
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	5,474	5,862	5,023
	開館日数/年	302	302	301
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	111,187	85,723	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2017	外壁改修工事	7,346			
	2017	屋根防水工事	7,817			
	2013	空調設備改修工事	14,846			
	2011	ハロゲン化物消火設備改修工事	2,520			
	2011	収蔵庫用空調設備改修工事	2,310			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.9
04-061	伊場遺跡	文化財	0.9
04-014	浜松復興記念館	地域	1.1
04-009	美術館	市域	1.4
04-001	浜松城公園天守閣	広域	1.5
04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.7
04-035	旧高山家	文化財	1.7
04-034	蛸塚遺跡	文化財	1.7
15-104	西部中学校	生活	0.2
03-028	県居協働センター	生活	0.3
14-005	中消防署鴨江出張所・浜松第16分団	地域	0.4
08-002	鴨江保育園	生活	0.4
01-003	鴨江分庁舎	市域	0.5
13-011	東伊場団地	地域	0.5
09-002	口腔保健医療センター	市域	0.5
09-001	保健所	市域	0.5



基本情報	リストNo	04-013	施設コード	00410	所管課	本庁	市民部文化財課	
	施設名	賀茂真淵記念館				施設	市民部文化財課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設								
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		浜松出身の国学者・賀茂真淵の業績および遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資する。						
		主な業務内容	賀茂真淵翁及び遠江の国学に関する資料収集、保管、展示及び調査研究業務、講座開催業務					
		主な利用者	遠江の国学者や歴史に興味のある人、キッズアートプロジェクト参加者、県居小学校各学年や市内近郊小中学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				開館時よりも高い水準の入館者数を維持しており、需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				団塊世代の勉学意欲が旺盛で、今後も壮高年者を中心に入館が期待できる。			
	特記事項				魅力ある講座の企画により、記念館への関心、参加者の増加が期待できる。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		特別展開催事業・開催期間:「賀茂真淵が育てた女流門人たち」・令和4年9月29日～11月27日	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	1,416	
			2020	—	—	—	1,241	
			2022	—	720	—	581	
事業②		記念館「指定事業講座」開催事業・開催日数:記念館アカデミー講座・18日間※参加者数欄には各年度の同事業参加者数の数値	2021	—	720	—	585	
			2020	—	720	—	513	
			2022	—	200	—	201	
事業③		記念館「指定事業講座」開催事業・開催日数:冬期講座・6日間	2021	—	280	—	175	
			2020	—	360	—	267	
	2022		—	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	無料の入館者(小・中学生や70歳以上の高齢者)が多いため、有料入館者となる客層を取り込んでいくことが課題となっている。また、築40年近くが経過し、建物及び設備の経年劣化が見受けられる。						
	対応策	有料入館者である客層(高校生以上)を増やすため、若年層でも気軽に利用できる親しみやすい展示や講座を目指し、SNS等広報媒体を使った情報提供に力を入れていく。また、施設修繕や更新が必要である部分は、令和5年以降順次更新を図っていく。特に、自動火災報知設備等のハロゲン化含素消防設備については、令和4年度に部品調達に間に合わなかったため、令和5年度に繰越実施する予定。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理者制度による運営を継続するとともに、より効率的な運営が可能か検討していく。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	23,443	23,838	23,349	1人当たりのコスト(円)	3,065	2,910	3,327
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	55,553	56,490	55,515
	1日当たり利用者(人)	18	19	17	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面、適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-014	施設コード	02381		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	浜松復興記念館				
所在(町名・番地)	中区利町304-2				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男		
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松復興記念館条例				
設置目的	西遠広域都市計画事業復興土地区画整理事業の完了を記念して、戦災からの復興の記録と市民生活、文化及び町並みの変遷を後世に伝えるため(浜松復興記念館条例第1条)				
主な利用者	市民、その他				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~				
管理者名	復興記念館管理運営グループ				
開館時間	9:00 ~ 17:00				
建物情報	総延床面積	685.40	土地面積	1,203.45	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		うち所有面積	1,203.45
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1988/8/1			
	経過年数(主要建物)	34		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	商業地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	321,300	—	321,300	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	221,700	—	221,700	
一般財源	99,600	—	99,600		
特記事項	R4.10月18日~R4.10月21日、R4.12月15日~R4.12月16日の計6日間、工事のため休館				



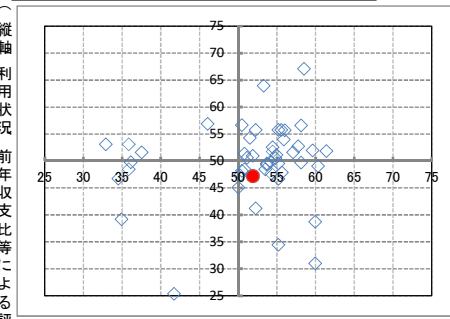
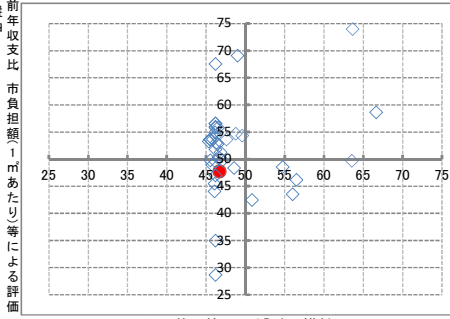
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,034	873	761
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	18	10	81
	収入計(A)	1,052	883	842
	支出(千円)	人件費	9,715	9,142
	物件費(委託料)	984	1,452	1,709
	維持補修費(修繕費)	270	1,870	2,280
	物件費(光熱水費)	1,094	1,250	958
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	12,063	13,714	13,862
	行政コスト(B-A)	11,011	12,831	13,020
	収支前年比	85.82	98.55	120.08
	(参考)指定管理料	13,427	13,519	13,427
	(参考)減価償却費	8,225	8,225	8,225
利用状況	利用コマ数/年	965	800	635
	利用可能コマ数/年	14,986	15,652	14,456
	施設利用者数/年	9,734	9,543	7,089
	開館日数/年	289	301	278
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	132,848	131,605	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松復興記念館空調設備改修工事	26,255			
2018	外壁改修工事	7,541			
2018	浜松復興記念館外壁及びトップライト改修工事	6,413			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.2
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.6
04-009	美術館	市域	0.7
04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.0
04-013	賀茂真淵記念館	地域	1.1
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン	広域	1.1
04-008	浜松科学館	市域	1.2
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	1.6
22-004	夜間救急室	市域	0.1
03-008	鴨江アートセンター	地域	0.3
19-002	ザザシティ駐車場	地域	0.3
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.3
07-001	浜松子ども館	市域	0.4
01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域	0.4
06-001	中央図書館	市域	0.4
15-004	西小学校	生活	0.5



基本情報	リストNo	04-014	施設コード	02381	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課
	施設名	浜松復興記念館			施設	中区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		西遠広域都市計画事業復興土地区画整理事業の完了を記念して、戦災からの復興の記録と市民生活、文化及び町並みの変遷を後世に伝えるため(浜松復興記念館条例第1条)					
		主な業務内容	資料の収集・保存・研究業務、資料の展示紹介業務、貸し館業務				
		主な利用者	市民、その他				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 貸館については、特定団体の定期的な使用や新たな利用者の獲得など、一定のニーズを確保している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 展示・貸館ともに減少が予想される。						
	特記事項 —						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	十分な駐車スペースが確保できない。					
	対応策	2台ある駐車スペースは、原則的に2階会議室利用者を優先に使用を認めているが、会議室の予約が入っていないときは一般来場者にも使用を認めるなど、指定管理者による柔軟な対応がとられている。立地的に、新たな駐車スペースを確保するのは難しいが、近隣の民間駐車場と連携して、駐車料を割引するサービスを実施している。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
	民活導入	施設利用者の利便性から、近隣の民間駐車場と連携し、駐車料の割引サービスを行っている。					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	16,065	18,720	18,996	1人当たりのコスト(円)	1,131	1,345	1,837
	施設利用率(%)	6.4	5.1	4.4	1開館日当たりのコスト(円)	38,100	42,628	46,835
	1日当たり利用者(人)	34	32	26	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	個別方針	<p>利用用途別分種毎の方向性</p> <p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	個別方針	<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点で、施設の役割や利用状況を踏まえ、統廃合などを含めた施設のあり方を検討する。</p>						

リストNo	04-015	施設コード	01852
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	茶室「松韻亭」		
所在(町名・番地)	中区鹿谷町11-4		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市茶室条例		
設置目的	茶道文化の普及及び伝承を図り、市民文化の向上に寄与するため(浜松市茶室条例第1条)		
主な利用者	呈茶客、浜松茶道連盟、茶道稽古人等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	遠鉄アシスト(株)		
開館時間	9:30 ~ 17:00		
建物情報	総延床面積	362.95	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1997/10/1	
経過年数(主要建物)	25	土地情報	うち所有面積 0.00
			うち借地面積 0.00
用途地域	第二種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



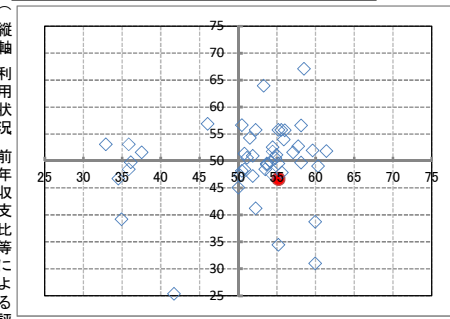
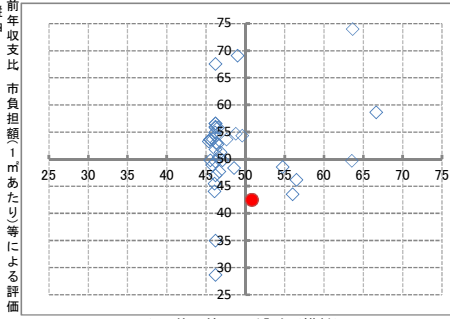
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	4,055	3,404	4,330
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	45	99	167
	収入計(A)	4,100	3,503	4,497
	支出(千円)	人件費	10,320	9,731
物件費(委託料)		1,163	1,115	1,139
維持補修費(修繕費)		1,756	51	72
物件費(光熱水費)		1,140	1,134	920
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	14,379	12,031	10,945	
行政コスト(B-A)	10,279	8,528	6,448	
収支前年比	120.53	132.26	96.02	
(参考)指定管理料	12,000	12,000	11,796	
(参考)減価償却費	256	256	256	
利用状況	利用コマ数/年	4,703	3,928	3,436
	利用可能コマ数/年	9,368	9,404	8,716
	施設利用者数/年	28,376	23,783	14,758
	開館日数/年	312	313	289
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	3,084	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市茶室空調設備改修工事	11,447			
2018	浜松市茶室塀改修工事	7,171			
2013	月見台改修工事	3,570			
2007	屋外トイレ新築工事	6,668			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-009	美術館	市域	0.4
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.4
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.7
04-014	浜松復興記念館	地域	1.0
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.2
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン	広域	1.6
04-013	賀茂真淵記念館	地域	1.7
04-008	浜松科学館	市域	1.8
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.1
03-006	勤労会館	地域	0.2
14-002	消防局・中消防署	市域	0.3
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.3
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.5
01-001	本庁舎	市域	0.5
01-002	元目分庁舎	市域	0.5
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.6



基本情報	リストNo	04-015	施設コード	01852	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課
	施設名	茶室「松韻亭」		施設	市民部創造都市・文化振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		茶道文化の普及及び伝承を図り、市民文化の向上に寄与するため(浜松市茶室条例第1条)					
		主な業務内容	呈茶サービス、茶室の貸し部屋業務、茶道をはじめとする日本伝統文化に関する講座				
		主な利用者	呈茶客、浜松茶道連盟、茶道稽古人等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者の高齢化により、ニーズは減少する可能性がある。				
	特記事項		茶道連盟会員数が減少するなど、茶道人口は減少傾向にある。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物の老朽化が進んでおり、数寄屋建築という特殊な建築手法で建てられているため、修繕が必要な際に対応できる業者が限られ、早急な対応ができない場合がある。					
	対応策	計画的に修繕等を行うとともに緊急修繕にも対応していく。数寄屋建築という特殊な建築手法で建てられた施設のため、修繕に制限があるが、状態を確認しながら慎重に修繕等を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—	—		
民活導入	地元茶道連盟の協力により講演会等の講師に浜松にゆかりのある方を迎えるなど民間活力を活用していく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	28,321	23,496	17,766	1人当たりのコスト(円)	362	359	437
	施設利用率(%)	50.2	41.8	39.4	1開館日当たりのコスト(円)	32,946	27,246	22,311
	1日当たり利用者(人)	91	76	51	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-016	施設コード	00926			
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設					
施設名	犀ヶ崖資料館					
所在(町名・番地)	中区鹿谷町25番10号					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 杉田 実良			
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	歴史と文化を広く紹介し、観光振興・文化振興を図る。					
主な利用者	市民及び観光客					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	9:00 ～ 17:00					
建物情報	総延床面積	79.49	土地面積	1,698.82		
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	1,698.82	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2015/3/26				
	経過年数(主要建物)	8				
用途地域	第二種住居地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	31,469,150	—	31,469,150		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	31,469,150	—	31,469,150			
特記事項	—					



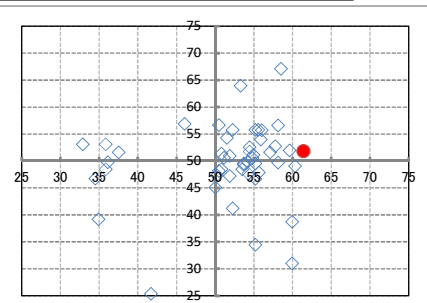
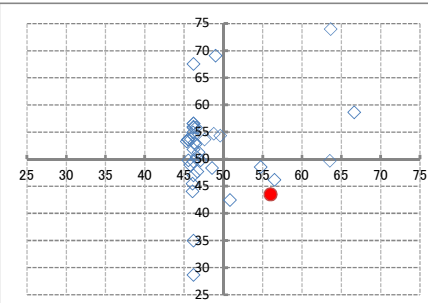
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6	6	6
	収入計(A)	6	6	6
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	938	924
	維持補修費(修繕費)	2,586	0	506
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	2,586	938	1,430
行政コスト(B-A)		2,580	932	1,424
収支前年比		276.82	65.45	138.39
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		928	928	928
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	14,533	7,549	6,939
	開館日数/年	299	266	264
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	121,318	14,667	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	改築工事	28,712			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.7
04-009	美術館	市域	1.0
04-001	浜松城公園天守閣	広域	1.0
04-035	旧高山家	文化財	1.6
04-010	博物館	市域	1.6
04-034	蛸塚遺跡	文化財	1.6
04-014	浜松復興記念館	地域	1.6
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.7
14-031	浜松第三分団	コミュニティ	0.1
15-006	追分小学校	生活	0.2
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.3
03-025	西部協働センター	生活	0.5
15-146	市立高等学校	市域	0.5
08-007	西保育園	生活	0.5
03-078	城北会館	コミュニティ	0.5
03-006	勤労会館	地域	0.5



基本情報	リストNo	04-016	施設コード	00926	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課
	施設名	犀ヶ崖資料館			施設	中區・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		歴史と文化を広く紹介し、観光振興・文化振興を図る。					
		主な業務内容	徳川家康関連(主に三方ヶ原の戦い)の資料、遠州大念仏の資料の展示及び紹介				
		主な利用者	市民及び観光客				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		歴史愛好家や研究家等の根強い関心がある。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		歴史愛好家や研究家等の一定のニーズを保持している。				
	特記事項		平成26年度に大規模改修(建替え)を実施。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成26年度に建て替えを実施しており、施設に大きな問題はない。敷地内の地下には防火用水槽が埋設されており、水槽の強度が不明なため、建物前面への駐車は不可としている(消防と協議済み)。					
	対応策	敷地内に高低差があり、防火用水槽がないスペースへ大型バスを駐車できるようにするためには、大規模な造成工事が必要となる。現状は、大型バス等で敷地内に駐車できない場合は、近隣の交通量が少ない場所へバスを停車させ、乗降場所としている。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—	—		
民活導入	引き続き管理運営委託により維持管理を実施していく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	32,457	11,725	17,914	1人当たりのコスト(円)	178	123	205
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	8,629	3,504	5,394
	1日当たり利用者(人)	49	28	26	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分種毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
現在の運営状況を踏まえ、最適な管理運営方法について検討していく。								

リストNo	04-017	施設コード	01236			
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設					
施設名	渚園					
所在(町名・番地)	西区舞阪町弁天島5005-1					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	公園			
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 杉田 実良			
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市弁天島海浜公園・渚園条例					
設置目的	市民の健康の増進及び観光の振興を図るため。					
主な利用者	キャンプ、バーベキュー、野球、ソフトボール、テニス、サッカーの利用					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~					
管理者名	東海ビル管理(株)					
開館時間	9:00 ~ 21:30					
建物情報	総延床面積	675.77	土地面積	155,606.02		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	155,606.02	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.81		代表地目(現況地目)		宅地
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1979/10/5				
	経過年数(主要建物)	43				
用途地域	商業地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
設置事業費	117,500	—	117,500			
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	117,500	—	117,500		
特記事項	・R5年1月13日～R5年1月19日まで受変電設備工事のため休園 ・運営経費は施設コード01237渚園水源地倉庫も含む。					



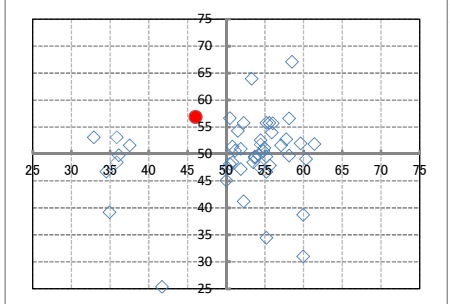
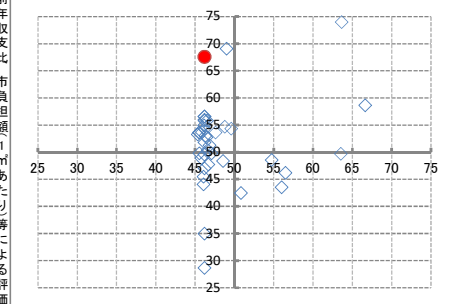
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	79,202	68,241	46,656
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	14,914	10,282	13,193
	収入計(A)	94,116	78,523	59,849
支出(千円)	人件費	48,642	44,949	42,582
	物件費(委託料)	5,042	2,088	8,558
	維持補修費(修繕費)	13,322	2,568	8,665
	物件費(光熱水費)	4,276	4,499	3,663
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	71,282	54,104	63,468
行政コスト(B-A)	-22,834	-24,419	3,619	
収支前年比	93.51	-674.74	-248.39	
(参考)指定管理料	2,000	2,000	18,969	
(参考)減価償却費	1,925	1,639	1,639	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	6,246,693	26,724	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	受変電設備改修工事	40,200	2013	テニスコートフェンス改修工事	7,615
2020	渚園ダッグアウト等改築工事	37,475	2010	野球場バックネット取替工事	14,907
2017	平成29年度 浜松市渚園下水道切替及び屋外使用部改修工事(機械設備工事)	18,932			
2017	平成29年度 浜松市渚園下水道切替及び屋外使用部改修工事(電気設備工事)	14,935			
2017	平成29年度 浜松市渚園下水道切替及び屋外使用部改修工事(建築工事)	27,769			
2016	野球場バックスクリーン改修工事	7,162			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.9
04-037	舞坂宿脇本陣	文化財	1.5
10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.4
26-016	観月園中継ポンプ場	—	0.5
13-036	蓬萊園団地	地域	0.5
08-015	舞阪第1保育園	生活	0.5
10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.7
26-015	蓬萊園中継ポンプ場	—	0.7
26-014	弁天島中継ポンプ場	—	1.0
05-012	雄踏総合公園庭球場、水泳場	地域	1.1



基本情報	リストNo	04-017	施設コード	01236	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	
	施設名	渚園			施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市民の健康の増進及び観光の振興を図るため。						
		主な業務内容	キャンプ場、野球場・テニスコート等の管理施設					
		主な利用者	キャンプ、バーベキュー、野球、ソフトボール、テニス、サッカーの利用					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
	特記事項							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
—		2021	—	—	—	—		
—		2020	—	—	—	—		
—		2020	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	トイレやスポーツ施設など、経年劣化に伴う施設の老朽化が進んでいる。						
	対応策	指定管理制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、計画的な修繕を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	指定管理による運営を実施していく。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-33,790	-36,135	5,355	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
指定管理による運営を継続する。老朽化が進む一部の施設については、利用状況等を踏まえた上で、維持修繕を実施する。								

リストNo	04-019	施設コード	00460
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	館山寺ターミナル事務所		
所在(町名・番地)	西区館山寺町1832-1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 杉田 実良
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	館山寺地区の観光振興及び情報発信の拠点として運営するため		
主な利用者	観光客		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	192.40	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2004/4/1	
	経過年数(主要建物)	19	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



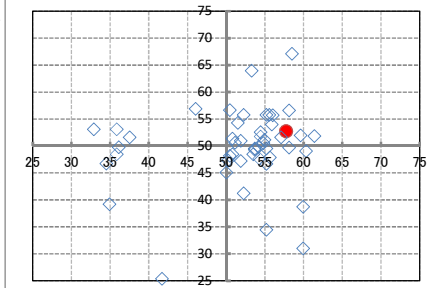
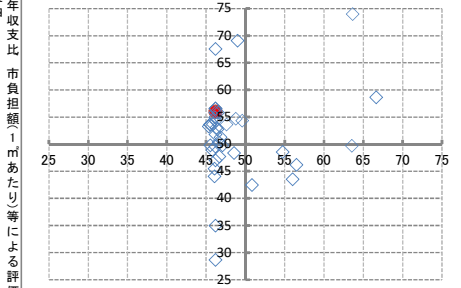
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	390	401	550
	収入計(A)	390	401	550
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	518	515	555
	維持補修費(修繕費)	149	300	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	667	815	555
行政コスト(B-A)		277	414	5
収支前年比		66.91	8280.00	-20.83
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,121	1,121	1,121
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	35,885	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等	0.6
04-004	動物園	広域	1.3
04-005	フラワーパーク	広域	1.7
07-038	庄内学園放課後児童会	生活	0.9
14-014	西消防署庄内出張所	地域	0.9
15-116	庄内学園(庄内小学校・中学校)	生活	1.0
18-064	旧北庄内小学校	地域	1.0
08-037	北庄内幼稚園	生活	1.0
03-041	庄内協働センター	生活	1.1
26-012	館山寺浄化センター	—	1.1
25-049	上下水道部西営業所	—	1.1



基本情報	リストNo	04-019	施設コード	00460	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課
	施設名	館山寺ターミナル事務所			施設	西区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		館山寺地区の観光振興及び情報発信の拠点として運営するため					
		主な業務内容	レンタサイクルの需要は令和2年度から3年度にかけて大幅に減少したが、一定のニーズは保持している。				
		主な利用者	観光客				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		レンタサイクルの需要は少しずつではあるが増加傾向にある。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		サイクリング利用は今後も堅調に推移すると見込まれる。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化等大きな問題はない。					
	対応策	必要な修繕により維持管理していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	民間活力導入の可能性について検討していく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,440	2,152	26	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。</p> <p>館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	管理主体変更	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	現在の管理運営を基本としながら、館山寺ターミナル事務所に隣接する公共駐車場との一体管理も含めた管理運営の可能性を検討していく。							

リストNo	04-020	施設コード	02329	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	浜松まつり会館			
所在(町名・番地)	南区中田島町1313			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 杉田 実良	
	施設	南区・区振興課	課長名 佐藤 一郎	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松まつり会館条例			
設置目的	「浜松まつり」に関する資料の収集、保管及び展示することにより、広く内外に宣伝・紹介し、観光の発展及び市民の文化の向上に寄与すること			
主な利用者	市民及び観光客			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~			
管理者名	遠鉄アシスト(株)			
開館時間	9:00 ~ 16:30			
建物情報	総延床面積	1,696.54	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1985/4/1		
	経過年数(主要建物)	38		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	588,880	—	588,880	
財源	国・県	30,000	—	30,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	558,880	—	558,880
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,903	1,289	1,174
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	812	500	679
	収入計(A)	2,715	1,789	1,853
支出(千円)	人件費	10,431	10,441	9,556
	物件費(委託料)	5,143	4,954	4,856
	維持補修費(修繕費)	539	423	662
	物件費(光熱水費)	5,332	3,021	1,919
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	21,445	18,839	16,993
行政コスト(B-A)		18,730	17,050	15,140
収支前年比		109.85	112.62	124.58
(参考)指定管理料		15,840	15,851	16,731
(参考)減価償却費		13,248	13,248	13,248
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	17,886	11,884	11,518
	開館日数/年	362	320	307
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	172,224	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	吊り天井落下防止対策工事	19,800			
2020	受変電設備改修工事	12,023				
2019	令和元年度 浜松まつり会館空調設備更新工事	32,359				
2018	浜松まつり会館排煙窓取替改修工事	9,493				
2016	空調設備更新工事	1,134				
2010	防水改修工事	10,301				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-046	中田島団地	地域	0.2
26-038	中田島団地雨水ポンプ場	—	0.3
24-030	六軒川排水機場	—	0.4
17-005	遠州灘海浜公園	地域	0.6
24-027	中田島排水機場	—	0.9
01-016	南区役所	地域	0.9
10-011	ふれあい交流センター江之島	地域	0.9
24-025	寺脇排水機場	—	1.0



基本情報	リストNo	04-020	施設コード	02329	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課
	施設名	浜松まつり会館			施設	南区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		「浜松まつり」に関する資料の収集、保管及び展示することにより、広く内外に宣伝・紹介し、観光の発展及び市民の文化の向上に寄与すること					
		主な業務内容	浜松まつりの紹介、資料の収集、保管及び展示				
		主な利用者	市民及び観光客				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		社会ニーズの変化に対応し、体験型施設として需要を維持している。			社会ニーズの変化に対応し、体験型施設として需要を維持している。		
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	観光交流人数や訪日客の増加、子育て世代等、新たなニーズの拡大が見込まれる。				
	特記事項	展示内容のマンネリ化、老朽化が進んでいるため、刷新が必要。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
	—	2021	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から30年以上が経過し、経年劣化によって設備に不具合が生じている。一定規模の修繕については指定管理者が負担して行っているが、大規模な改修や設備更新については市で実施する必要がある。					
	対応策	令和2年度に吊り天井落下防止対策工事、受変電設備改修工事を実施した。また、施設の維持継続に必要な修繕を優先的に実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	従来の指定管理者制度により、今後も民間活力を生かしながら管理・運営を行っていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,040	10,050	8,924	1人当たりのコスト(円)	1,047	1,435	1,314
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	51,740	53,281	49,316
	1日当たり利用者(人)	49	37	38	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)							
	利用状況等による評価(横軸)							
個別方針	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。								

リストNo	04-021	施設コード	02320	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館			
所在(町名・番地)	北区細江町気賀1015-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆	
	施設	北区・まちづくり推進課	課長名 佐藤 卓	
設置根拠(法)	博物館法			
条例	浜松市博物館条例			
設置目的	教育・学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市博物館条例第1条)浜名湖の漁労・蘭草栽培、姫街道、銅鐸等の歴史文化遺産を保管・展示する施設			
主な利用者	一般市民・観光客・歴史愛好家ほか			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00～17:00			
建物情報	総延床面積	624.00	土地面積 1,141.88	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.38		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1980/3/20		
	経過年数(主要建物)	43		
用途地域	第二種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	100,709	—	100,709
	国・県	10,000	—	10,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	90,709	—	90,709	
特記事項	—			



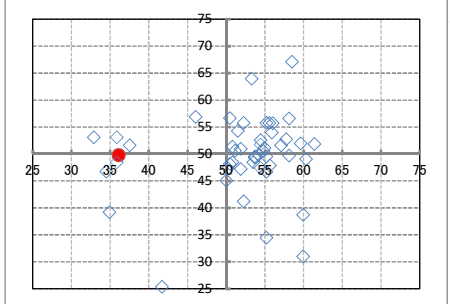
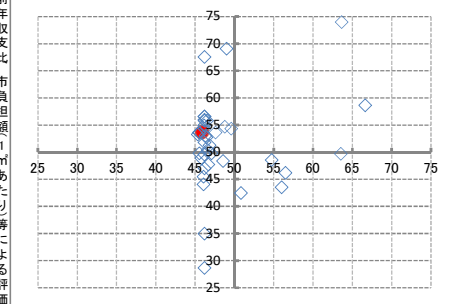
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	23	59	40
	収入計(A)	23	59	40
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	534	534	524
	維持補修費(修繕費)	0	0	862
	物件費(光熱水費)	1,034	935	874
	物件費(借地料)	180	189	199
支出計(B)	1,748	1,658	2,459	
行政コスト(B-A)		1,725	1,599	2,419
収支前年比		107.88	66.10	99.59
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,886	2,886	2,886
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	3,981	4,177	3,879
	開館日数/年	297	298	278
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	19,450	20,204	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	外壁改修工事	4,669			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域	0.1
04-024	気賀関所	地域	0.5
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.6
15-067	気賀小学校	生活	0.2
03-012	みをつくし文化センター	地域	0.4
14-067	細江中央分団	コミュニティ	0.5
06-015	細江図書館	地域	0.5
01-017	北区役所	地域	0.5
09-006	細江健康センター	地域	0.5
08-053	中央幼稚園	生活	0.5
10-014	細江介護予防センター	地域	0.5

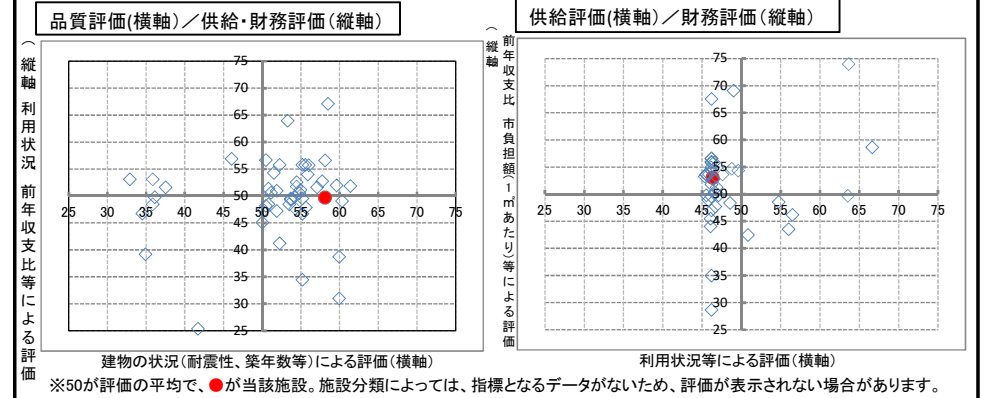


基本情報	リストNo	04-021	施設コード	02320	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館			施設	北区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実、地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		教育・学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市博物館条例第1条) 浜名湖の漁労、蘭草栽培、姫街道、銅鐸等の歴史文化資産を保管・展示する施設					
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理				
		主な利用者	一般市民・観光客・歴史愛好家ほか				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			平成23年度の入館料の無料化後、一定の需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			歴史等のブームや大河ドラマが放映された影響により、今後も一定のニーズが続くと予想される。			
	特記事項			地域の貴重な遺産を保護・活用し、後世に継承していくために重要な施設と考えられる。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		常設展示	2022	—	—	3,981	
			2021	—	—	4,177	
			2020	—	—	3,879	
事業②		巡回展の開催	2022	—	—	2,696	
			2021	—	—	2,993	
			2020	—	—	2,457	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	建業後40年以上が経過し、建物の老朽化が随所にみられるようになってきた。小規模な修繕は行ってきたが、屋根の防水シートや消防設備更新など、今後大規模な修繕を必要とする箇所がある。またエレベーターやトイレ等ユニバーサルデザインに対応していない設備がある。					
	対応策	来館者の安全面を考え、不具合箇所を随時的に修繕していく。経年劣化による施設の不具合については、重要性、危険度合等を考慮し、計画的に修繕を行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	重要な地域遺産の保存は、市が適切に管理する必要がある。活用の面においても展示は、市がおこなうことが望ましいと思われるが、企画については民間活力を導入する余地はある。(資料館における体験型の企画等)						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	2,764	2,563	3,877	1人当たりのコスト(円)	433	383	624
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	5,808	5,366	8,701
	1日当たり利用者(人)	13	14	14	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分種毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
他施設との複合化について、地元意見などを踏まえて慎重に検討する。								

基本情報	リストNo	04-022	施設コード	00124	所管課	本庁	産業部農地整備課	
	施設名	みかんの里資料館			施設	施設	産業部農地整備課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設								
関連政策名 生産基盤の安定による農業経営								
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の情報提供並びに地域の活性化を図る。(みかん栽培の歴史等を通じて)							
	主な業務内容	みかん等農産物栽培に係る農具等の展示						
	主な利用者	主に地域住民(子供～大人)						
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 みかん栽培に係る農具は地域の産業的遺産であり、保存、展示する資料館の役割は益々高まると思われる。							
	特記事項							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	資料館の運営	2022	3,801	—	3,914	
2021				3,574	—	4,151		
2020				6,196	—	3,040		
2022				—	—	—		
事業②		—	2021	—	—	—		
			2020	—	—	—		
事業③		—	2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業④		—	2022	—	—	—		
	2021		—	—	—			
2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	三ヶ日みかんの歴史に関する学習の場として、更なる利用者数の増加に向けた新たな取り組みが必要である。						
	対応策	展示物の更新及びみかんに関する講座等の実施にあたっては、農協、地元自治会・農家等と協議を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	みかん栽培に精通した本地域の団体等への管理委託の可能性の検討。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	4,986	4,255	2,987	1人当たりのコスト(円)	326	263	252
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	4,146	3,539	2,813
	1日当たり利用者(人)	13	13	11	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考 利用者の圏域毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

参考 利用用途別分類毎の方向性

これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。

個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

現在の運営状況を踏まえ、民間から幅広い意見を聴く中で、コンテンツの見直しなど魅力の向上を図るとともに、他施設との複合化、統廃合を検討する。

リストNo	04-023	施設コード	00333	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所			
所在(町名・番地)	北区細江町気賀4583			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部農地整備課	課長名 黒柳 健	
	施設	産業部農地整備課	課長名 黒柳 健	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市奥浜名湖田園空間博物館総合案内所条例			
設置目的	奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図る。			
主な利用者	主に大人			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~			
管理者名	(株)ヤタロー			
開館時間	8:30 ~ 17:00			
建物情報	総延床面積	573.64	土地面積 4,821.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2003/3/25		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	132,850	—	132,850	
財源	国・県	95,850	—	95,850
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	37,000	—	37,000
特記事項	—			



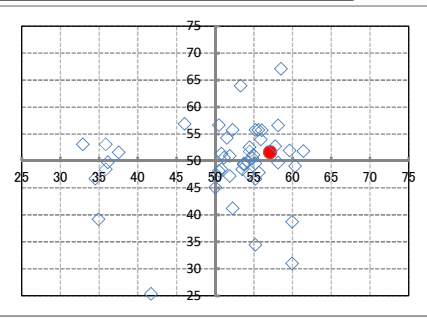
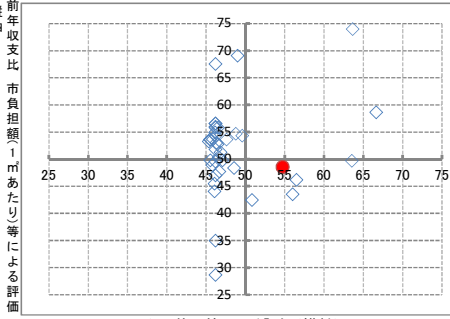
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	36	37	33
	収入計(A)	36	37	33
支出(千円)	人件費	4,751	4,097	11,445
	物件費(委託料)	1,356	1,557	1,253
	維持補修費(修繕費)	20	264	329
	物件費(光熱水費)	1,525	1,078	1,468
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	7,652	6,996	14,495	
行政コスト(B-A)		7,616	6,959	14,462
収支前年比		109.44	48.12	124.25
(参考)指定管理料		8,100	5,426	8,775
(参考)減価償却費		3,969	3,969	3,969
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	76,386	67,630	74,192
	開館日数/年	360	317	320
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	125,387	36,224	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-024	気賀関所	地域	0.1
04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域	0.6
04-021	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域	0.6
10-014	細江介護予防センター	地域	0.1
06-015	細江図書館	地域	0.1
01-017	北区役所	地域	0.2
09-006	細江健康センター	地域	0.2
03-012	みをつくし文化センター	地域	0.2
15-129	細江中学校	生活	0.2
08-053	中央幼稚園	生活	0.3
26-021	山後雨水ポンプ場	—	0.6



基本情報	リストNo	04-023	施設コード	00333	所管課	本庁	産業部農地整備課
	施設名	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所				施設	産業部農地整備課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	生産基盤の安定による農業経営					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図る。					
		主な業務内容	案内所の管理及び旬彩市等の運営				
		主な利用者	主に大人				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		年々利用者が増加している				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域の農家を含めた住民の成果を披露できる場であり、今後も役割は益々高まると思われる。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		総合案内所の管理・運営	2022	8,100	—	76,386	
			2021	5,400	—	67,630	
			2020	8,775	—	74,192	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	隣接する気賀関所との一体管理に伴い、両施設において地域住民や観光客を取り入れたり、他施設と連携した事業を展開し、更なる利用者の拡大や地域貢献を目指した運営を行う。また、好評を博している旬彩市においては、今後も地域農業者の生産物の展示・販売の舞台として質的向上を期待。					
	対応策	地域住民、農業者、各種団体等との調整が必要である。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	13,277	12,131	25,211	1人当たりのコスト(円)	100	103	195
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	21,156	21,953	45,194
	1日当たり利用者(人)	212	213	232	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>							
個別方針	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。</p> <p>館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>							
	<p>1資産の見直し</p> <p>複合化</p> <p>2民活導入</p> <p>(1)維持管理</p> <p>(2)改修・更新時</p> <p>(3)その他</p> <p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点で、利用状況を踏まえ複合化も検討する。</p>							

リストNo	04-024	施設コード	00479
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	気賀関所		
所在(町名・番地)	北区細江町気賀4577		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 杉田 実良
	施設	北区・まちづくり推進課	課長名 佐藤 卓
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市気賀関所条例		
設置目的	復元した関所を公開し、気賀関所に関する資料の保存と活用を図り、もって郷土文化の発展及び観光の振興に資する。		
主な利用者	観光客、浜松市民		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~		
管理者名	(株)ヤタロー		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	342.25	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1990/3/20	
経過年数(主要建物)	33	うち所有面積 0.00	うち借地面積 0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	90,723	—	90,723
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	90,723	—
特記事項	R4.12.30~R5.1.3まで施設メンテナンス等のため休所。		



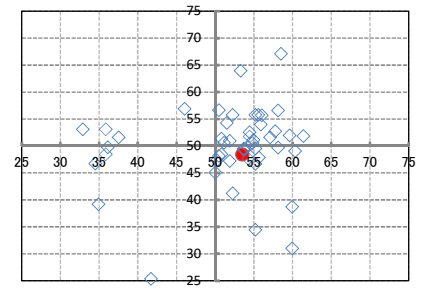
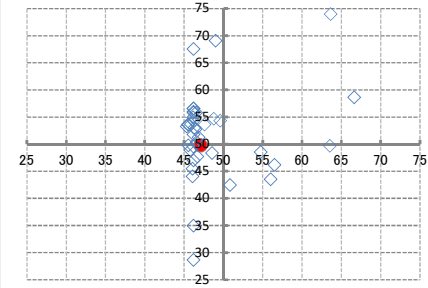
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	922	728	723
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,116	23	119
	収入計(A)	2,038	751	842
支出(千円)	人件費	3,768	4,280	4,326
	物件費(委託料)	659	422	670
	維持補修費(修繕費)	1,295	2,070	4,760
	物件費(光熱水費)	564	444	420
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	6,286	7,216	10,176	
行政コスト(B-A)	4,248	6,465	9,334	
収支前年比	65.71	69.26	129.08	
(参考)指定管理料	4,769	4,769	5,522	
(参考)減価償却費	1,280	1,280	1,280	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	9,863	7,807	7,542
	開館日数/年	360	321	317
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	10,122	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.1
04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域	0.5
04-021	姫街道と銅鑼の歴史民俗資料館	地域	0.5
06-015	細江図書館	地域	0.0
10-014	細江介護予防センター	地域	0.1
09-006	細江健康センター	地域	0.1
01-017	北区役所	地域	0.1
03-012	みをつくし文化センター	地域	0.1
08-053	中央幼稚園	生活	0.2
15-129	細江中学校	生活	0.3
14-067	細江中央分団	コミュニティ	0.6



基本情報	リストNo	04-024	施設コード	00479	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課
	施設名	気賀関所		施設	北区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		復元した関所を公開し、気賀関所に関する資料の保存と活用を図り、もって郷土文化の発展及び観光の振興に資する。					
		主な業務内容	関所の保存及び公開に関する業務、関所に関する資料の収集、保管及び展示に関すること等				
		主な利用者	観光客、浜松市民				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		郷土文化の発展及び観光振興施設として一定の需要は見込まれる。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成2年創設から30年以上を経過し、経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。指定管理者制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、一定規模の修繕については、指定管理者において実施しているものの、大規模な改修等は市で実施する必要がある。					
	対応策	優先度を設定し修繕計画を立て、計画的に修繕を行うとともに、突発的な緊急修繕には事後保全により対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	平成27年度より隣接した「奥浜名湖田園空間博物館総合案内所」との一体管理を導入している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	12,412	18,890	27,272	1人当たりのコスト(円)	431	828	1,238
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	11,800	20,140	29,445
	1日当たり利用者(人)	27	24	24	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性 これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。							
	現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。							

リストNo	04-025		施設コード	02118	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	内山真龍資料館				
所在(町名・番地)	天竜区大谷568				
利用者の圏域別分類等	地域		中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部文化財課		課長名	平田 隆
	施設	天竜区・まちづくり推進課		課長名	森田 修
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市立内山真龍資料館条例				
設置目的	内山真龍の業績及び遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資するため設置(浜松市立内山真龍資料館条例第1条)				
主な利用者	一般市民				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 17:00				
建物情報	総延床面積	468.06	土地情報	土地面積	4,489.31
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	901.00
	地上階数(主要建物)	1		うち借地面積	3,588.31
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		代表地目(現況地目)	雑種地
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1996/3/19			
	経過年数(主要建物)	27			
用途地域	第二種中高層住居専用地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	—				



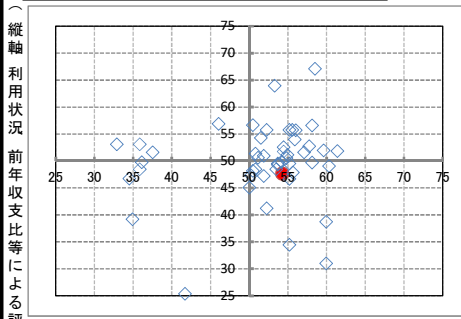
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	80	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	20	55	42
	収入計(A)	100	55	42
支出(千円)	人件費	6,400	6,400	6,400
	物件費(委託料)	1,770	1,525	1,519
	維持補修費(修繕費)	160	658	622
	物件費(光熱水費)	1,836	1,268	1,245
	物件費(借地料)	1,048	1,048	1,048
	支出計(B)	11,214	10,899	10,834
行政コスト(B-A)		11,114	10,844	10,792
収支前年比		102.49	100.48	64.07
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,188	1,188	1,188
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	830	848	700
	開館日数/年	212	216	209
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	30	11,926	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市立内山真龍資料館収蔵庫空調機更新工事	7,764			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-030	ヤマタケの蔵	地域	1.1
04-042	ものづくり伝承館	文化財	1.2
04-047	二俣歴史散策路	小規模等	1.3
04-012	秋野不矩美術館	市域	1.4
同分類			
その他の分類			
13-083	大谷団地	地域	0.4
01-022	天竜区役所	地域	0.5
18-010	天竜防災センター	地域	0.5
14-025	天竜消防署	地域	0.5
05-025	天竜体育館	地域	0.5
05-030	天竜武道館	地域	0.5
09-010	天竜保健福祉センター	地域	0.6
01-024	天竜区役所南館	地域	0.6



基本情報	リストNo	04-025	施設コード	02118	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	内山真龍資料館		施設	天竜区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1
複合施設		長屋門(市指定有形文化財)・天竜の家ふれあい館					
関連政策名		地域の文化遺産の保全・活用					
設置の妥当性	設置目的(再掲)						
	内山真龍の業績及び遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資するため設置(浜松市立内山真龍資料館条例第1条)						
	主な業務内容	内山真龍及び遠州国学に関する資料の他、天竜地域の歴史及び文化財に関する資料の保管・展示・調査等					
	主な利用者	一般市民					
施設運営分析	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の入館者がある。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も一定の入館者が見込まれる。				
	特記事項		—				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	常設展Ⅰ「内山真龍と文芸」R4.3.24~R4.6.5/常設展Ⅱ「古文書あれこれ」R4.6.25~R4.9.18/常設展Ⅲ「内山真龍の交友」R4.10.1~R4.12.4/特別展「徳川家康と北遠」R4.12.21~R5.3.12	2022	150	—	通年830人	
			2021	—	—	通年848人	
			2020	—	—	通年700人	
			2019	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	
2021			—	—	—		
2020			—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	平成8年に建設されたため、設備の経年劣化により、修繕を必要とする箇所が多数ある。令和3年度の空調設備保守点検では、管理棟の展示室、学習室の空調設備について、ユニットの経年劣化が進んでいるので設備の更新を検討するよう業者より指摘されている。					
	対応策	令和元年度に収蔵庫空調機更新工事は実施済。今後、管理棟について大幅な改修が必要である。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	23,745	23,168	23,057	1人当たりのコスト(円)	13,390	12,788	15,417
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	52,425	50,204	51,636
	1日当たり利用者(人)	4	4	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>							
	<p>利用用途別分種毎の方向性</p> <p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-026	施設コード	01224		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	春野歴史民俗資料館				
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川1327-1				
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆		
	施設	天竜区春野協働センター	課長名 中村 功		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市博物館条例				
設置目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市博物館条例第1条)大居城、秋葉山、王子製紙等の考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示				
主な利用者	一般市民、観光客、歴史愛好家ほか				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 17:30				
建物情報	総延床面積	472.30	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積	
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		10,133.60	
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	
	建築年月日(主要建物)	1994/2/28		0.00	
	経過年数(主要建物)	29		代表地目(現況地目)	
用途地域	都市計画区域外				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	寄付金	—	—	—
		その他	—	—	—
		市債	—	—	—
		一般財源	—	—	—
		特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	950	939	944
	維持補修費(修繕費)	44	0	0
	物件費(光熱水費)	658	621	370
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,652	1,560	1,314
行政コスト(B-A)		1,652	1,560	1,314
収支前年比		105.90	118.72	47.87
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,516	3,516	3,516
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	1,190	1,129	352
	開館日数/年	287	287	255
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	66,741	73,845	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	郷土資料館屋根改修工事	4,464			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-029	白井鐵道記念館	地域	1.3
04-054	天狗下駄展示場	小規模等	1.3
06-017	春野図書館	地域	0.0
10-019	春野福祉センター	地域	0.0
01-025	春野協働センター	地域	0.3
14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	0.3
14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	0.4
21-007	春野斎場	地域	0.6
26-022	気田浄化センター	—	0.8
03-017	春野文化センター	地域	1.3



基本情報	リストNo	04-026	施設コード	01224	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	春野歴史民俗資料館			施設	天竜区春野協働センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実、地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市博物館条例第1条) 犬居城、秋葉山、王子製紙等の考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示					
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理				
		主な利用者	一般市民、観光客、歴史愛好家ほか				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も一定の利用が予想される。			
	特記事項			歴史博物館として地域の文化遺産継承に必要不可欠な施設			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		常設展示	2022	—	不特定	1,190	
			2021	—	不定数	1,129	
			2020	—	不定数	352	
			のべ募集人員		参加者数		
事業②		企画展の開催「昔のくらし」	2022	—	不特定	97	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		特別企画展の開催「春野の近代化遺産～気多森林鉄道～」	2022	333	不特定	736	
			2021	—	—	—	
	2020		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	建築後29年が経過し、空調機械設備の更新と、床材等建築設備の修繕対応が必要である。					
	対応策	適正な施設維持管理のため緊急性の高いものから修繕を行い、必要に応じて機械設備の更新も計画していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	図書館と一体管理			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,498	3,303	2,782	1人当たりのコスト(円)	1,388	1,382	3,733
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	5,756	5,436	5,153
	1日当たり利用者(人)	4	4	1	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことのできる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-027	施設コード	01508
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	水窪民俗資料館		
所在(町名・番地)	天竜区水窪町地頭方1097		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆
	施設	天竜区水窪協働センター	課長名 岩本 晃
設置根拠(法)	博物館法		
条例	浜松市博物館条例		
設置目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市博物館条例第1条)山間地の生活文化、街道文化資産の展示・保管施設		
主な利用者	市民、児童生徒、観光客		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 16:00		
建物情報	総延床面積	681.67	土地面積 1,289.96
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1997/5/30	
	経過年数(主要建物)	25	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



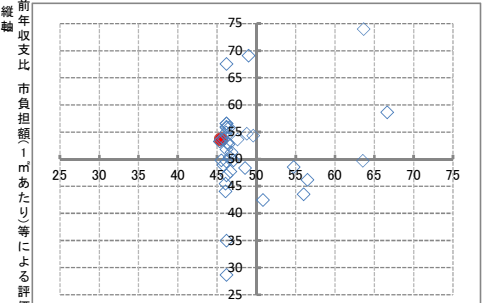
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	11	15	16
	収入計(A)	11	15	16
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,035	1,027	1,013
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	1,091	950	877
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	2,126	1,977	1,890	
行政コスト(B-A)		2,115	1,962	1,874
収支前年比		107.80	104.70	61.30
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		6,242	6,242	6,242
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	593	1,368	453
	開館日数/年	200	200	181
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	7,027	156,045	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	学習施設外壁・屋根改修工事	10,276			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-039	民俗資料館旧久保邸	文化財	0.0
04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	1.0
同分類			
その他の分類			
14-146	水窪第2分団第5部竜戸詰所	コミュニティ	0.2
25-025	向島浄水場	—	0.8
14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	0.8
05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	0.8
14-027	天竜消防署水窪出張所	地域	0.9
05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ	0.9
02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域	0.9
13-070	つづじヶ丘団地	地域	0.9



基本情報	リストNo	04-027	施設コード	01508	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	水窪民俗資料館			施設	天竜区水窪協働センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実、地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市博物館条例第1条)山間地の生活文化、街道文化資産の展示・保管施設					
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理				
		主な利用者	市民、児童生徒、観光客				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			当初に比べ来館者は減少している			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			来館者数は現在と比較し横ばいと予想される			
	特記事項			貴重な中山間地の民俗資料の保存施設としてのニーズは高い			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		常設展示	2022	—	不特定	593	
			2021	—	不特定	1,368	
			2020	—	不特定	453	
			2022	—	不特定	139	
事業②		巡回展の開催	2021	—	不特定	969	
			2020	—	不特定	149	
			2022	—	—	—	
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	経年劣化の進行により、空調設備に不備が生じている。					
	対応策	すぐにリニューアルが必要な程には至っていないが、必要な修繕などを施しながら良好な施設の維持に努めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,103	2,878	2,749	1人当たりのコスト(円)	3,567	1,434	4,137
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	10,575	9,810	10,354
	1日当たり利用者(人)	3	7	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-029	施設コード	02248	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	白井鐵造記念館			
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川1768			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市白井鐵造記念館条例			
設置目的	浜松市名誉市民である白井鐵造の功績を称え、紹介するとともに、これを次代に継承する。			
主な利用者	観光客や宝塚歌劇団愛好者など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	52.17	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1987/3/25		
	経過年数(主要建物)	36		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	8,500	—	8,500
	国・県	—	—	—
	寄付金	8,500	—	8,500
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



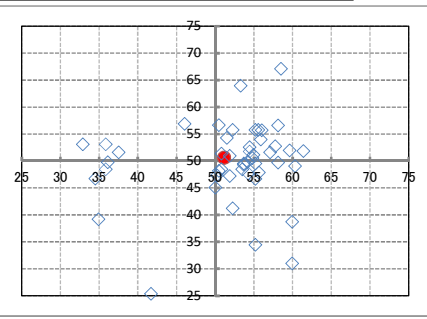
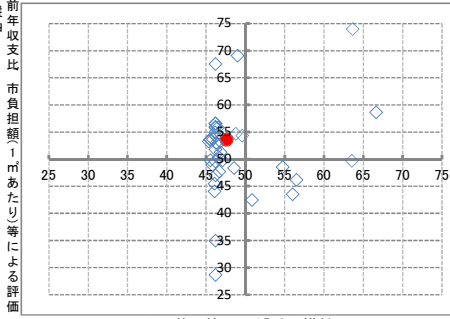
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	216	216	216
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	14	16	15
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	230	232	231	
行政コスト(B-A)		230	232	231
収支前年比		99.14	100.43	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	2,081	1,279	1,177
	開館日数/年	297	301	279
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-054	天狗下駄展示場	小規模等	0.0
04-026	春野歴史民俗資料館	地域	1.3
同分類			
その他の分類			
03-017	春野文化センター	地域	0.0
25-046	宮川水道倉庫	—	0.5
26-022	気田浄化センター	—	0.6
21-007	春野斎場	地域	0.6
14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	0.8
14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	1.0
01-025	春野協働センター	地域	1.0
10-019	春野福祉センター	地域	1.2



基本情報	リストNo	04-029	施設コード	02248	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	白井鐵造記念館			施設	天竜区・まちづくり推進課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
複合施設	—									
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の継承・地域の文化遺産の保全・活用								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		浜松市名誉市民である白井鐵造の功績を称え、紹介するとともに、これを次代に継承する。								
		主な業務内容	施設管理業務							
		主な利用者	観光客や宝塚歌劇団愛好者など							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			宝塚歌劇団やすみれへの関心は高く、需要は確保される						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			宝塚歌劇団やすみれへの関心は高く、ニーズは維持される						
	特記事項			「すみれの花咲く頃」の歌碑が移設された						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
				のべ募集人員	参加者数					
事業①		白井鐵造愛用品等の展示	2022	—	未定数	2,081				
			2021	—	未定数	1,279				
			2020	—	未定数	1,177				
事業②		—	2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
			2020	—	—	—				
事業③		—	2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
	2020		—	—	—					
事業④	—	2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
		2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでいるため修繕等が必要である。入口や通路のバリアフリー化の要望がある。								
	対応策	施設維持のため、緊急性の高いものから修繕を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	令和元年度より、NPO法人春野のえがおに日常管理を委託している。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	4,409	4,447	4,428	1人当たりのコスト(円)	111	181	196
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	774	771	828
	1日当たり利用者(人)	7	4	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-030	施設コード	04331	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	ヤマタケの蔵			
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣1162-4			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆	
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	国登録有形文化財の蔵3棟(南の蔵、新蔵、北の蔵)と同じ敷地に、文化交流や地域交流の拠点として地域活性化に資するため交流棟を設置。			
主な利用者	一般市民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	10:00～21:00			
建物情報	総延床面積	252.54	土地面積 748.82	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2011/6/28		
	経過年数(主要建物)	11		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



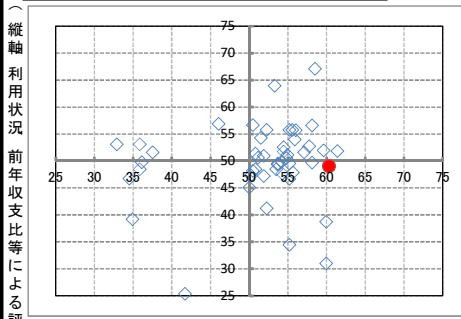
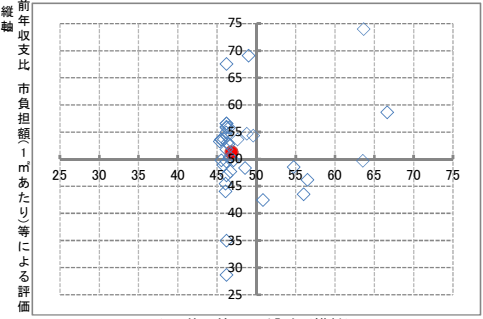
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	32	13	39
	収入計(A)	32	13	39
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	207	198	197
	維持補修費(修繕費)	350	10	176
	物件費(光熱水費)	98	89	90
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	655	297	463	
行政コスト(B-A)		623	284	424
収支前年比		219.37	66.98	207.84
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,194	1,194	1,194
利用状況	利用コマ数/年	53	17	27
	利用可能コマ数/年	510	516	456
	施設利用者数/年	4,700	1,168	1,175
	開館日数/年	255	258	228
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	25,543	12,390	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2011	施設整備工事	24,999			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-042	ものづくり伝承館	文化財	0.1
04-047	二俣歴史散策路	小規模等	0.3
04-012	秋野不矩美術館	市域	0.4
04-025	内山真龍資料館	地域	1.1
04-044	田代家住宅	文化財	1.4
14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	0.1
14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ	0.1
03-058	二俣協働センター	生活	0.4
15-096	二俣小学校	生活	0.4
07-067	ふたまた児童クラブ	生活	0.4
13-085	田組西団地	地域	0.4
01-024	天竜区役所南館	地域	0.5
09-010	天竜保健福祉センター	地域	0.5



基本情報	リストNo	04-030	施設コード	04331	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	ヤマタケの蔵		施設	天竜区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		国登録有形文化財の蔵3棟(南の蔵、新蔵、北の蔵)と同じ敷地に、文化交流や地域交流の拠点として地域活性化に資するため交流棟を設置。					
		主な業務内容	交流棟(多目的スペース・ワークショップスペース)の貸館業務				
		主な利用者	一般市民				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用がある。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も一定の利用が見込まれる。			
	特記事項			平成27年8月に既存の蔵3棟が国登録有形文化財に登録された。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		交流棟(多目的スペース・ワークショップスペース)の貸館業務 ※天竜商工会、クローバー通り商店会等の開催する地域の活性化イベントへの貸し出し	2022	—	—	4,700	
			2021	—	—	1,168	
			2020	—	—	1,175	
			2022	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	既存の蔵3棟が平成27年8月に国登録有形文化財に登録された。大正時代に建築された歴史的価値のある古建築物であるため、安全な維持管理が必要である。					
	対応策	—					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	2,467	1,125	1,679	1人当たりのコスト(円)	133	243	361
	施設利用率(%)	10.4	3.3	5.9	1開館日当たりのコスト(円)	2,443	1,101	1,860
	1日当たり利用者(人)	18	5	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	 <p>縦軸 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価</p> <p>横軸 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価</p>				 <p>縦軸 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価</p> <p>横軸 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価</p>			
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分科毎の方向性	<p>これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
国登録有形文化財に登録された既存の蔵3棟について、文化財として適切な保存に努める。								